

令和5年度

事業年報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回国際会議議決)

人道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取扱う。

中立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

独立 赤十字は独立である。各国赤十字は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律には従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

ご あ い さ つ

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに赤十字奉仕団や地区・分区をはじめとする関係の皆様から多大なご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として、災害救護事業をはじめとして、医療事業、血液事業、社会福祉事業、ボランティア・青少年の育成など様々な活動を実施しています。

本年 1 月に発生した能登半島地震では石川県を中心に甚大な被害が発生しましたが、日本赤十字社では、発災直後から全社を挙げて医療救護活動、救援物資の配布、こころのケア活動、義援金の募集など被災者への支援活動を展開しました。鹿児島県支部におきましても、支部内の各施設と連携して被災地に救護班や災害医療コーディネートチームを派遣し、避難所での救護活動等を実施したところです。

近年、風水害等の自然災害が激甚化・頻発化するとともに、南海トラフ地震などの大規模災害の発生が高い確率で予測される中で、鹿児島県支部では、災害発生時に迅速かつ機動的に対応できるよう災害救護体制の充実・強化に努めるとともに、県民の方々が災害に際して命を守るために適切な行動をとることができるよう、地域における「自助」、「共助」の力を高めるための「防災・減災教育」の充実に努めているところです。

病院事業につきましては、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組むとともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めました。

血液事業につきましては、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液製剤の安定供給に努めました。

社会福祉事業につきましては、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

鹿児島県支部としましては、今後とも、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を生かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご理解とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係の皆さまにおかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 6 月

日本赤十字社鹿児島県支部
支部長 塩田 康一

目 次

1	災害救護	1
(1)	常備救護班の編成状況	
(2)	災害救護活動	
(3)	災害救護訓練等の実施	
(4)	救援物資の備蓄・配分	
(5)	救護資機材の整備	
(6)	赤十字救護連絡所の医薬品等補充	
(7)	救急用担架の配備	
(8)	洋上での遭難者に対する救援	
(9)	臨時救護	
(10)	防災講話、非常時の炊出し訓練等の実施	
(11)	赤十字防災セミナーの実施	
(12)	死亡弔慰金の支給	
(13)	義援金の取扱い状況	
2	看護師の養成	16
3	救急法等の講習	17
(1)	救急法	
(2)	水上安全法	
(3)	健康生活支援講習	
(4)	幼児安全法	
(5)	救急法等指導員の在籍状況	
4	赤十字奉仕団の活動	22
(1)	赤十字奉仕団組織図	
(2)	赤十字奉仕団及び奉仕団員数	
(3)	地域赤十字奉仕団結成状況	
(4)	総会及び研修会等開催状況	
(5)	地域赤十字奉仕団研修会開催状況	
(6)	地域高齢者生活支援事業の実施	
(7)	赤十字奉仕団登録一覧表	
5	青少年赤十字の活動	27
(1)	校種別加盟状況	
(2)	加盟校の推移	
(3)	会議等の参加及び開催	
(4)	研修活動	
(5)	青少年赤十字研究推進校研究発表会	
(6)	高校協議会の活動	
(7)	青少年赤十字100文字作文コンクール	

(8) 機関紙の発行	
(9) その他の青少年赤十字活動	
(10) 校種別加盟校名簿	
6 国際活動	35
(1) 国際活動事業への参加	
(2) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集	
(3) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）	
7 広報活動	37
(1) 5月の赤十字運動月間における広報	
(2) 各種イベント等の活用による広報	
(3) 見学誘致による広報	
(4) 刊行物による広報	
(5) 各報道機関等による広報	
8 赤十字大会	40
(1) 全国赤十字大会	
(2) 九州八県赤十字大会	
(3) 鹿児島県赤十字有功会総会	
9 会員増強運動	41
(1) 令和5年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移	
(2) 令和5年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）	
(3) 令和5年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対前年度比較）	
(4) 令和5年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表	
(5) 令和5年度赤十字会員増強運動功労表彰	
(6) 過去5カ年間の種別会員数の推移	
(7) 令和5年度一般社資金額別内訳一覧表	
(8) 令和5年度法人社資金額別内訳一覧表	
(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿	
10 医療事業	50
(1) 一般医療	
(2) 医療救護活動	
(3) へき地医療	
(4) 保健衛生事業	
(5) 相談援助・地域連携	
11 血液事業	55
(1) 供給・採血実績	
(2) 供給体制	
(3) 医薬情報活動	
(4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力	

- (5) 献血推進
- (6) 献血予約の推進と協力要請
- (7) 骨髄バンク事業
- (8) 献血功労者表彰

12 社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

- (1) 指定介護老人福祉施設事業
- (2) 短期入所生活介護事業
- (3) 入居者へ質の高いサービスの提供
- (4) 入居者の安全対策・環境整備
- (5) ボランティアの受入れと地域との連携
- (6) 実習生の受入れ
- (7) 地域貢献活動について
- (8) 広報活動について
- (9) その他
(参考) 令和5年度における入居者の状況

13 評議員会及び監査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68

- (1) 支部評議員会
- (2) 業務監査
- (3) 地区・分区関係各種会議等

14 決算状況・・ 70

- (1) 令和5年度一般会計歳入歳出決算書
- (2) 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
- (3) 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・ 73

- 本社及び支部組織図等
- 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
- 日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
- 日本赤十字社現勢
- 支部の現勢
- 支部の沿革

1 災 害 救 護

災害救護は、日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、常備救護班を8班編成し、各種救護訓練等への参加や災害救護資機材の整備等に努めるとともに、令和6年能登半島地震災害に際しては、全国の支部・施設等と連携して被災者の救護活動を実施した。

(1) 常備救護班の編成状況

	医 師 ^(人)	看護師長 ^(人)	看 護 師 ^(人)	主 事 ^(人)	計 ^(人)
1 個 班 の 編 成	1	1	2	2	6
常 備 要 員 数	8	8	16	16	48

(2) 災害救護活動

ア 令和5年6月の大雨

救護班を派遣するような被害は発生しなかったが、支部災害対策本部要員が災害発生に備えて情報収集体制を取ったほか、一部分区において救援物資の配布を実施した。

イ 令和6年能登半島地震

令和6年1月1日(日)に石川県能登地方を中心とする最大震度7の地震が発生し、甚大な被害が発生した。鹿児島県支部では管内の各施設と連携して、救護班を2班、災害医療コーディネータチームを1チーム派遣するなどの救護活動を実施した。

1月1日	第2次救護体制を発令し事業推進課職員が情報収集を開始
1月4日	「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集を開始
1月22日～26日	鹿児島県支部救護班(第1班)を石川県七尾市に派遣
2月10日～16日	日赤災害医療コーディネータチームを石川県珠洲市に派遣
2月24日～29日	鹿児島県支部救護班(第2班)を石川県七尾市に派遣



避難所での巡回診療



保健医療福祉部門の調整業務

(3) 災害救護訓練等の実施

ア 鹿児島県支部災害対策本部立上訓練

11月13日(月)に、支部災害対策本部立ち上げ時の対応マニュアルの検証を目的とした訓練を実施した。

イ 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

災害時の初動対応や九州各県支部との連携強化を図ることを目的に、「県本土を震源とする最大震度7の地震が発生した」との想定で、12月3日(日)から4日(月)にかけて鹿児島県支部事務局を会場にして訓練を実施した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	10人
	日赤本社・九州各県支部職員	30人
	計	40人

ウ 各機関が実施する防災訓練への参加

(ア) 鹿児島県総合防災訓練

「大雨により地盤が緩む恐れがある中、震度6強の地震が発生した」という想定で、5月28日(日)に始良市で実施された鹿児島県主催の訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	4人
	鹿児島赤十字病院	7人
	鹿児島県赤十字血液センター	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	10人
	始良市赤十字奉仕団	20人
	計	42人

(イ) 多数傷病者事故対応訓練

「川商ホールでコンサートを開催中に鹿児島湾を震源とする震度6弱の地震が発生し、負傷者が多数発生した」という想定で、9月6日(水)に鹿児島市消防局主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	4人
	鹿児島赤十字病院	5人
	計	9人

(ウ) 桜島火山爆発総合防災訓練(図上訓練)

「桜島の大規模爆発に際して住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関の認識の共有、各機関の役割・能力の確認、相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る」ことを目的に、10月25日(水)に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	1人
	計	2人

(エ) 令和5年度鹿児島県・熊本県国民保護共同実働・図上訓練

「武力攻撃予測事態下における離島住民の避難に関する調整事項や手順等を確認し、関係機関の連携の強化及び国民保護措置の実効性の向上を図る」ことを目的に、国や鹿児島県などが共同で実施した訓練に参加した。

・参加訓練	プレ訓練(11月7日(火))、本訓練(1月21日(日))	
・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	2人
	計	3人

(ウ) 第54回桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)

「桜島の火山活動が活発化し噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まった」との想定で、11月11日(土)に鹿児島市主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	鹿児島赤十字病院	2人
	計	4人

(カ) 第54回桜島火山爆発総合防災訓練(避難所体験・展示訓練)

「大規模噴火に備えた避難行動を学び、防災意識を次世代につなげる」をコンセプトに、1月13日(土)に鹿児島市主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	鹿児島赤十字病院	1人
	日赤鹿児島市地区	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	5人
	鹿児島中央赤十字奉仕団	20人
	計	29人

(キ) 鹿児島県原子力防災訓練

「原子力防災対策に係る関係機関相互の連携強化や地域住民の防災意識の向上を図る」ことを目的に、2月10日(土)に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加訓練	避難退域時検査訓練	
・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	鹿児島赤十字病院	4人
	計	5人

エ 救護員研修

(ア) 鹿児島県支部救護員基礎研修

救護員の量的確保並びに質的向上を図ることを目的に、鹿児島県支部管内職員を対象とした基礎研修及びフォローアップ研修を実施した。

- ・開催日時 9月16日(土) 8時30分～16時15分
- ・開催場所 県赤十字会館
- ・参加者 基礎研修：17人 フォローアップ研修：7人

(イ) こころのケア研修会

災害発生時における被災者に対する「こころのケア」の実施方法並びに救護員自身のこころのケアに関する対処方法を習得させることを目的に実施した。

- ・開催日時 8月18日(金) 9時～17時
- ・開催場所 鹿児島赤十字病院
- ・参加者 16人

(ウ) 日赤災害医療コーディネート研修会

日赤災害医療コーディネートチームの活動能力向上等を図ることを目的に、日赤本社の主催で実施された研修会に参加した。

- ・開催日時 ①7月8日(土) 9時30分～9日(日)16時
②9月23日(土) 9時30分～24日(日)16時
- ・開催場所 日本赤十字社本社
- ・参加者 ①1人
②1人

(エ) 鹿児島県ローカルDMA T研修

県内での災害発生時に医療救護活動を行う医療従事者を養成する研修に参加した。

- ・開催日時 12月23日(土) 8時30分～24日(日)13時
- ・開催場所 鹿児島市立病院
- ・参加者 2人

(4) 救援物資の備蓄・配分

支部倉庫及び県内36の地区・分区等に救援物資を備蓄し、災害発生時の被災者への迅速な配分に備えている。

ア 救援物資の備蓄状況

令和6年3月31日現在

品名 備蓄先	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット)※	ブルーシート (枚)
支部倉庫	1,627	476	2,146	0	2,116
36常備地区	1,799	870	1,124	392	1,039
計	3,426	1,346	3,270	392	3,155

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

イ 救援物資配分基準

品名	災害区分	
	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛布	被災者1人につき	1枚
緊急セット (タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等)	被災世帯1世帯につき	1セット
タオルケット	被災者1人につき	1枚
ブルーシート	被災世帯1世帯につき	1枚

(注) 世帯標準構成員は4人を想定(死亡者は世帯構成員に含めない)



毛 布



緊急セット



タオルケット



ブルーシート

ウ 救援物資常備地区及び配分区域

令和6年3月31日現在

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市役所	鹿児島市	南九州市社協	南九州市
鹿屋市社協	鹿屋市	伊佐市社協	伊佐市
枕崎市社協	枕崎市	姶良市社協	姶良市
阿久根市社協	阿久根市、長島町	さつま町社協	さつま町
出水市社協	出水市	湧水町社協	湧水町
指宿市社協	指宿市	県大隅地域振興局	東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市社協	西之表市	県熊毛支庁	中種子町、南種子町
垂水市社協	垂水市	県大島支庁	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市社協	薩摩川内市 (上甕町、下甕町以外)	瀬戸内町社協	瀬戸内町
薩摩川内市社協 甕島	薩摩川内市上甕町	喜界町社協	喜界町
薩摩川内市社協 甕島(下甕駐在)	薩摩川内市下甕町	徳之島町社協	徳之島町
日置市社協	日置市	天城町社協	天城町
曾於市社協	曾於市	伊仙町社協	伊仙町
霧島市社協 本所	国分市、隼人町、福山町 溝辺町	和泊町社協	和泊町
霧島市社協 牧園支所	牧園町、横川町、霧島町	知名町社協	知名町
いちき串木野市社協	いちき串木野市	与論町社協	与論町
南さつま市社協	南さつま市	県屋久島事務所	屋久島町
志布志市社協	志布志市	支 部 直 送	三島村
奄美市社協	奄美市		十島村

(注) 社協：社会福祉協議会

エ 支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和6年3月31日現在

支 部	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分分置	残数
支 部	1,677	10	3	57	1,627	542	13	13	66	476	0	9	9	0	0	2,236	19	16	93	2,146	2,171	8	8	55	2,116

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	58	27	0	25	60	44	12	11	7	38	23	0	6	2	15	76	20	15	18	63	47	10	7	6	44
鹿屋市	37	0	1	9	27	17	0	0	5	12	0	0	0	0	0	26	0	1	9	16	14	0	0	5	9
枕崎市	20	0	0	0	20	14	0	0	0	14	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20	42	0	0	2	40
阿久根市	20	0	0	0	20	11	0	0	0	11	3	0	0	0	3	25	0	0	0	25	15	0	0	0	15
出水市	56	0	0	3	53	22	0	0	3	19	28	0	0	3	25	10	0	0	3	7	13	0	0	3	10
指宿市	34	0	0	0	34	21	0	0	0	21	4	0	0	0	4	37	0	0	0	37	15	0	0	0	15
西之表市	35	0	0	2	33	6	0	0	1	5	3	0	0	1	2	35	0	0	2	33	23	0	0	1	22
垂水市	39	0	0	0	39	29	0	0	0	29	19	0	0	0	19	16	0	0	0	16	20	0	0	0	20
薩摩川内市	82	0	0	0	82	40	0	0	0	40	7	0	0	0	7	65	0	0	0	65	63	0	0	0	63
薩摩川内市(上瓶)	20	0	0	0	20	16	0	0	0	16	0	5	0	0	5	19	0	0	0	19	34	0	0	0	34
薩摩川内市(下瓶)	6	0	0	0	6	17	0	0	0	17	11	0	0	5	6	21	0	0	0	21	23	0	0	0	23
日置市	21	0	0	1	20	18	0	0	1	17	8	0	0	0	8	24	0	0	1	23	18	0	0	1	17
曾於市	49	0	0	9	40	44	0	0	5	39	26	0	0	2	24	48	0	0	9	39	34	0	0	5	29
霧島市(国分)	32	0	0	3	29	27	0	0	3	24	18	0	0	0	18	31	0	0	3	28	31	0	0	3	28
霧島市(牧園)	15	0	0	0	15	10	0	0	0	10	4	0	0	0	4	17	0	0	0	17	11	0	0	0	11
いちき串木野市	23	0	0	5	18	25	0	0	1	24	12	0	0	1	11	25	0	0	5	20	24	0	0	1	23
南さつま市	66	0	0	3	63	43	0	0	2	41	43	0	0	2	41	32	0	0	3	29	46	0	0	2	44
志布志市	24	0	0	2	22	17	0	0	2	15	0	0	0	0	0	20	0	0	2	18	17	0	0	2	15
奄美市	56	0	0	0	56	60	0	0	3	57	22	0	0	0	22	127	0	0	3	124	132	0	0	3	129
南九州市	3	10	0	4	9	1	6	0	2	5	4	0	0	3	1	7	10	0	4	13	5	5	0	3	7
伊佐市	43	0	0	3	40	31	0	0	2	29	0	0	0	0	0	41	0	0	3	38	27	0	0	2	25
さつま町	16	0	0	0	16	11	0	0	0	11	2	0	0	0	2	13	0	0	0	13	10	0	0	0	10
湧水町	17	0	0	0	17	17	0	0	0	17	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16	16	0	0	0	16
始良市	47	0	0	0	47	20	0	0	0	20	2	0	0	0	2	44	0	0	0	44	26	0	0	0	26
大隅地区	83	0	0	3	80	64	0	0	2	62	60	0	0	0	60	62	0	0	3	59	62	0	0	2	60
熊毛地区	107	0	1	0	106	32	0	1	0	31	26	0	1	0	25	39	0	2	0	37	27	0	0	0	27
大島地区	565	0	0	20	545	56	18	0	10	64	36	0	0	7	29	76	33	0	22	87	93	0	0	9	84
瀬戸内町	51	20	0	31	40	24	30	0	24	30	0	0	0	0	0	44	30	0	31	43	27	40	0	24	43
喜界町	17	0	0	3	14	10	0	0	2	8	0	0	0	0	0	14	0	0	3	11	11	0	0	2	9
徳之島町	50	0	0	5	45	25	0	0	2	23	0	0	0	0	0	30	0	0	5	25	28	0	0	2	26
天城町	40	0	1	4	35	31	0	1	2	28	2	0	2	0	0	28	0	1	2	25	27	0	1	2	24
伊仙町	12	0	0	0	12	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	23	0	0	0	23
和泊町	18	0	0	2	16	19	0	0	2	17	7	0	0	2	5	20	0	0	2	18	15	0	0	2	13
知名町	32	0	0	1	31	18	0	0	1	17	15	0	0	1	14	19	0	0	1	18	17	0	0	0	17
与論町	27	0	0	0	27	26	0	0	0	26	10	0	0	0	10	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20
屋久島事務所	63	0	0	1	62	23	0	0	1	22	16	0	0	1	15	33	0	0	1	32	19	0	0	1	18
常備地区計	1,884	57	3	139	1,799	900	66	13	83	870	426	5	9	30	392	1,185	93	19	135	1,124	1,075	55	8	83	1,039

※「返却」欄の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の「補充戻入」欄に反映される。

※常備地区間の補充も「受入」欄及び「配分」欄に計上している。

(5) 救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、次の救護資機材を整備・更新した。

ア 県支部における救護資機材の整備

(ア) 救護活動用ヘッドライト	12個
(イ) 救護活動用ヘルメット	20個
(ウ) 救護活動用安全靴	11足
(エ) 発電機	1機
(オ) 投光器	4台
(カ) 救護所用簡易ベッド	6台

イ 地区・分区における救護資機材の整備

救援物資輸送などの災害救援活動及び日常の情報収集活動等に不可欠な救援車を整備するため、次の3地区・分区に補助金を交付した。

(交付先)

地区・分区名	交付額(円)
阿久根市地区	600,000
和泊町分区	600,000
鹿屋市地区	600,000
計	1,800,000

ウ 支部における救護資機材の整備状況

令和6年3月31日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1式	発電機	9
無線装備 (150MHz帯)	基地局(固定)2 移動局 55	投光器	12
無線装備 (400MHz帯)	基地局 1 移動局 20	炊き出し用釜セット	5
無線装置 (二重免許)	携帯基地局 2 携帯局 2	医療セット	2
携帯電話	8	携帯型医療セット	1
衛星電話	可搬型 2 車載型 1	マジックギブス	3
通信機器 (パソコン、スマートフォン、iPad、モバイルプリンター)	各 1	アンビューバッグ	3
ポータブル電源 (モバイルバッテリー、蓄電池)	モバイルバッテリー 3台、蓄電池 5台	血圧計	8
トランシーバー	10	点滴台	10
カーナビゲーション	9	寝袋	36
救急車	病院 1	寝袋用マット	16
災害救援車	3	折畳式リヤカー	4
災害連絡車	4	折畳式自転車	2
通信指令車	1	医療セット置き台	2
エアーテント	3	輸液ポンプ	10
フレーム式拡張テント	3	簡易型心電図モニター	1
災害用テント	3	携帯型除細動器	1
担架	37	ポータブル人工呼吸器	1
担架架台	10	GPS 機能付車載無線機	1
浄水機	1		

市町村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト			
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用	
												数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	S51・S54 S56・S56・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	S52・S63									16	H2
	吉田町			2	S56・H4									5	H2
	桜島町			3	S51・S62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	R5	2	S61・H5									30	H2
	輝北町			2	S56・H4			1	H13	1	S62	1	H1	6	H4
	串良町			2	S51・S62			1	H12	1	S62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	S63	1	H1	5	H4
枕崎市			1	R1	1	H13	1	S58	1	H13					
阿久根市			1	R5					1	H13					
出水市	出水市	1	H28	1	H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町							1	H16						
	高尾野町							1	H13			1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	2	H16・R4			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	S63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	S63			1	H2
西之表市			1	H15					1	H13	1	H2	1	H1	
垂水市					1	H13			1	H14	1	H2		6	H2
薩摩川内市	川内市			3	S51・S61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	S56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	S56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	S56・H5			1	H15	1	S63	1	H1	6	H3
	禰答院町	1	H23	2	S59・H5			1	H15	1	S62			6	H3
	里村	1	H11	2	S55・H3			1	H15	1	S63			6	H3
	上甑村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甑村	1	H29	2	S52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甑と合併									1	S63			
日置市	東市来町	1	H28	2	S54・H1			1	H15	1	S63			8	H3
	伊集院町	1	R2	3	S53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曾於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	S63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	S55・H2					1	S62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	S63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	1	H23					1	H16						
	溝辺町			2	S54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	R3	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	S63				
	隼人町			1	S54			1	H16	1	H2				
	福山町	1	H16	1	H4					1	S63				
いちき串木野市	串木野市	1	R3	2	S61・H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	S56・H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	S62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	S62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	S56・H5			1	H15	1	S62				
	金峰町							1	H13						

市町村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト				
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用		
												数量	整備年度	数量	整備年度	
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4	
	志布志町	1	H18					1	H15	1	S62			3	H4	
	有明町	1	H25					1	H12	1	S62			1	H4	
奄美市	名瀬市			1	S63	1	H25	1	H15							
	住用村									1	H1					
	笠利町			2	S54・H2			1	H16	1	H1					
南九州市	穎娃町	1	H19	2	S53・H1			1	H21	1	S62			7	H2	
	知覧町	1	H12	2	S54・H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2	
	川辺町	1	H12	2	S53・H1	1	H12			1	S62			8	H2	
伊佐市	大口市	1	H18	3	S51・S62・H13	1	S60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2	
	菱刈町	1	H30	2	S55・H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4	
始良市	加治木町			2	S54・H1			1	H16	1	H2					
	始良町	1	H16	2	S53・H1			1	H18	1	S63					
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	S63					
三島村			1	H3	2	S56・H5						1	H3	5	H2	
十島村					2	S56・H5								8	H2	
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7									
	鶴田町	1	H12	2	S53・H1			1	H14	1	S63					
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13							
長島町	東町	1	H1	2	S54・61					1	S61	1	H3	11	H3	
	長島町	1	H24	2	H1・H13			1	H12	1	S61	1	H1	5	H3	
湧水町	栗野町			2	S55・H3	2	H10・R3	1	H14	1	S63					
	吉松町	2	H13・H22	1	H4			1	H14	1	S63	1	H1			
大崎町			1	H16	2	S55・H2			1	H14	1	S62	1	H1	1	H4
東串良町					2	S55・H2					1	S62	1	H1	3	H4
錦江町	大根占町	1	H14	2	S63・H13			1	H16	1	S62			9	H4	
	田代町			2	S56・H5			1	H15	1	S61	1	H1	4	H4	
南大隅町	根占町	1	H12	2	S55・H3			1	H14	1	S61					
	佐多町			2	S56・H5			1	H13	1	S61			17	H4	
肝付町	内之浦町			2	S54・H2			1	H15	1	S61					
	高山町	2	H20・H27	2	S61・H5			1	H16	1	S63					
中種子町										1	S62					
南種子町				1	H1			1	H16	1	S61	1	H1			
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	S62					
	屋久町	1	H28					1	H16	1	S63	1	H1			
大和村					2	S61・H5			1	H12				7	H4	
宇検村			1	H26	2	S55・H3			1	H16	1	S62			6	H4
瀬戸内町			1	R3	2	S53・H1			1	H14	1	S62			21	H4
龍郷町			2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15				8	H4	
喜界町			1	R1	1	H1			1	H16	1	S62			10	H4
徳之島町			2	H21・R2	2	S61・H5	1	H10	1	H15	1	S62	1	H1		
天城町			1	H27	1	H3			1	H15	1	S62				
伊仙町			1	H27	2	S55・H3			1	H14	1	S62			9	H4
和泊町			2	H29・R5	1	H4			1	H14	1	S62	1	H3	5	H4
知名町			1	H29	1	H2			1	H14	1	S62			6	H4
与論町			1	H30	2	S61・H5			1	H16	1	S62	1	H3	4	H4
鹿兒島																
北薩														1	H3	
始良・伊佐				2	S54・H2	1	H11					1	H1	1	H4	
大隅				3	S53・H1	1	H6					1	H1			
熊毛				1	H3									1	H4	
大島				1	S62	1	R1							1	H4	
屋久島事務所						1	S56									
計		64		143		20		73		71		32		459		

※整備年度欄の「S」は昭和、「H」は平成、「R」は令和

(6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充

自然公園財団高千穂河原支部(2カ所)に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

(7) 救急用担架の配備

不特定多数の人が集合、通過する場所で急病人やけが人が発生した場合、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

(配備先)

施設区分	施設名等
駅	鹿児島中央駅、鹿児島駅、指宿駅、出水駅、隼人駅、吉松駅
港	鹿児島新港、西之表港、名瀬港、垂水港、宮之浦港、亀徳港、和泊港
公園等	吉野公園、平川動物園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北上場公園
体育館	指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市(国分、隼人)、垂水市、曾於市
運動場	県立野球場、県立陸上競技場、県立体育館
神社	霧島神宮、新田神社、護国神社

(8) 洋上での遭難者に対する救援

洋上での遭難者等に救援を目的として、第十管区海上保安本部所属の巡視船に分置している救援物資の補充を行った。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付

令和6年3月31日現在

品名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛布	140	0	7	133
作業服(上下)	上 135 下 135	上 5 下 5	上 6 下 6	上 134 下 134
肌着	137	3	5	135
日用品	134	6	5	135
スリッパ	136	4	4	136

(9) 臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に救護員や看護師などを派遣した。

	実施日	行事名	派遣者(人)
1	8月19日	第21回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会	医師1、看護師3、主事2、支部3、ボランティア4
2	11月2日	第43回交通安全母の会鹿児島県大会	看護師1
3	11月7日	鹿児島県戦没者追悼式	看護師2
4	11月10日	鹿児島県地域福祉推進大会	看護師1
5	11月15・16日	第75回九州地区地域婦人大会並びに 令和5年度全国女性団体連絡協議会九州ブロック会議	看護師2
6	3月3日	鹿児島マラソン2024	医師1、看護師3、支部1

(10) 防災講話、非常時の炊出し訓練等の実施

学校、町内会等からの要請を受けて職員や奉仕団員を派遣し、防災・減災に関する講話や炊飯袋を使った炊出し訓練等を実施した。

	実施日	実施団体	受講数(人)	実施内容
1	7月9日	皇徳寺コミュニティ協議会	100	炊出し訓練
2	8月2～9日	南九州市社会福祉協議会	30	救急法
3	8月8日	始良市社会福祉協議会	30	炊出し訓練、防災講話
4	9月24日	八幡校区振興会3支部4区	11	炊出し訓練、救急法
5	11月12日	日赤南大隅町分区	60	炊出し訓練
6	11月19日	真砂町自主防災隊	120	炊出し訓練、救急法
7	11月26日	玉里団地西第2町内会防災会	40	炊出し訓練、救急法
8	11月26日	宮内地区自治会連絡協議会	30	救急法
9	12月7日	鹿屋市社会福祉協議会	16	災害時のこころのケア
10	12月16日	花尾小学校	40	炊出し訓練
11	2月10日	谷山ふるさとコミュニティ協議会	30	防災講話、救急法
12	2月16日	薩摩川内市入来支所	114	炊出し訓練、防災講話
13	3月30日	恵美須北町内会	30	炊出し訓練、救急法

(11) 赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分からない災害から命を守るために必要な「自助」と「共助」の力を高めるための防災・減災教育の一環として、「赤十字防災セミナー」を下記のとおり実施した。

実施日	実施地区 (市町村)	実施団体 (対象者)	受講者数 (人)	実施内容
6月6日	南九州市	社会福祉法人更生会 (鹿児島国際大学児童学科学生)	4	家具安全対策ゲーム (KAG)
6月21日	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島市地区 (町内会役員)	31	家具安全対策ゲーム (KAG)
7月25日	鹿児島市	鹿児島市社会福祉協議会川上校区 (地域住民)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
7月29日	鹿屋市	日本赤十字社鹿屋市地区 (児童・保護者)	23	家具安全対策ゲーム (KAG)
8月17日	鹿児島市 (玉江小学校)	南日本リビング新聞社「防災・減災プロジェクト」 (小学生・大学生・地域住民)	32	災害図上訓練 (DIG)
9月1日	鹿児島市	TASUC鹿児島 (小学生～高校生・保護者)	20	家具安全対策ゲーム (KAG)
9月2日	鹿児島市 (清水小学校)	南日本リビング新聞社「防災・減災プロジェクト」 (小学生・大学生・地域住民)	22	災害図上訓練 (DIG)
9月23日	鹿児島市	障がい者支援施設 慈生園 (職員)	23	ひなんじょたいけん
10月22日	鹿児島市	前ヶ迫町内会 (地域住民)	40	災害図上訓練 (DIG)
12月21日	鹿児島市	鹿児島女子短期大学 (生活科学科学生)	48	災害への備え
3月11日	鹿児島市	母子生活支援施設 千草寮 (職員・地域住民)	26	ひなんじょたいけん
11回			651	

- ・災害エスノグラフィー：大規模災害での被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- ・災害図上訓練 (DIG)：地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- ・災害への備え：災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- ・家具安全対策ゲーム (KAG)：自宅の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。
- ・ひなんじょたいけん：大地震における避難所生活の一部をイメージした「避難所をつくるカードゲーム」を通じて、避難所での「避難者の目線で心がける事柄」を理解する。

(12) 死亡弔慰金の支給

自然災害（地震、台風、高潮、洪水等）及び火災により亡くなられた方の遺族に対し、死亡弔慰金（死亡者1人につき2万円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給額(円)
曾於市地区末吉分区	8月	1	20,000
鹿児島市地区	11月	1	20,000
鹿児島市地区	12月	1	20,000
鹿児島市地区	1月	1	20,000
鹿屋市地区	1月	1	20,000
南さつま市地区	2月	4	80,000
さつま町分区	2月	1	20,000
出水市地区	3月	1	20,000
日置市地区吹上分区	3月	2	40,000
鹿児島市地区	3月	2	40,000
計		15	300,000

(13) 義援金の取扱い状況

国内で発生した災害の被災者を救援するための義援金を募集し、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。

国内義援金取扱い状況(鹿児島県支部受付分)

令和6年3月31日現在

義援金の名称 (受付期間)	件数	金額(円)
令和5年5月能登半島地震災害義援金 (令和5年5月10日～令和5年9月30日)	27	218,259
令和5年台風第2号等大雨災害義援金 (令和5年6月9日～令和5年9月30日)	18	169,838
令和5年6月30日からの大雨災害義援金 (令和5年7月12日～令和5年12月29日)	17	53,115
令和5年7月7日からの大雨災害義援金 (令和5年7月18日～令和6年3月29日)	54	810,347
令和5年台風第6号災害義援金 (令和5年9月1日～令和5年11月30日)	16	107,032
令和5年台風第13号災害義援金 (令和5年9月13日～令和5年12月31日)	9	37,144
令和6年能登半島地震災害義援金 (令和6年1月4日～令和6年12月27日)	698	209,868,489
合計	839	211,264,224

2 看護師の養成

鹿児島県支部及び鹿児島赤十字病院では、優秀な看護学生の就学を支援するために、日本赤十字九州国際看護大学の看護学生を対象とした奨学金制度を設けている。

令和5年度は、下記のとおり奨学金を貸与した。

(1) 日本赤十字社鹿児島県支部

看護学生1人（2年生：1人）に年額90万円を貸与

※支部長の推薦を受けて入学した看護学生が対象

(2) 鹿児島赤十字病院

看護学生2人（2年生、4年生：各1人）に年額70万円を貸与



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

3 救急法等の講習

県民の方々に人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習を次のとおり実施した。

各種講習の開催状況

講習種別		実施回数	受講者(人)
救急法	基礎講習	20	447
	救急員養成講習	11	204
	短期講習	164	10,289
	計	195	10,940
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	1	15
	救助員養成講習Ⅱ	0	0
	短期講習	17	857
	計	18	872
健康生活支援講習	支援員養成講習	2	21
	短期講習	27	938
	計	29	959
幼児安全法	支援員養成講習	6	138
	短期講習	87	1,804
	計	93	1,942
合計		335	14,713

(1) 救急法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)を用いた電気ショック、止血の仕方、搬送、災害時の心得等についての知識と技術を学ぶ講習。

ア 基礎講習

実施日	対象	主催	受講者(人)
4月20日	学生	鹿児島県立 加世田常潤高等学校	5
4月29日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	16
5月10日	職域	株式会社ユトリ	12
6月19日	職域	鹿児島県警察学校	20
7月7日	学生	学校法人希望が丘学園 鳳凰高等学校	29
7月31日	学生	鹿児島県立 薩摩中央高等学校	13
8月21日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	13
9月4日	学生	学校法人日章学園 鹿児島城西高等学校	19
10月7日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
10月25日	職域	鹿児島県社会福祉協議会	50
11月6日	職域	鹿児島県社会福祉協議会	39
11月8日	職域	鹿児島県警察学校	24
11月14日	学生	学校法人希望が丘学園 鳳凰高等学校	21
1月6日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	16
1月16日	学生	霧島市立 国分中央高等学校	32
1月24日	職域	屋久島環境文化研修センター	6
2月10日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	11
2月13日	学生	学校法人志學館学園 志學館大学	26
3月2日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
3月5日	学生	学校法人神村学園 神村学園専修学校	65
合計 20 回			447

イ 救急員養成講習

実施日	対象	主催	受講者(人)
5月13日～20日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	14
6月20日～21日	職域	鹿児島県警察学校	20
8月22日～24日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	12
9月5日～7日	学生	学校法人日章学園 鹿児島城西高等学校	19
10月7日～9日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	13
11月9日～10日	職域	鹿児島県警察学校	24
11月15日～17日	学生	学校法人希望が丘学園 鳳凰高等学校	21
1月17日～19日	学生	霧島市立 国分中央高等学校	34
1月25日～26日	職域	屋久島環境文化研修センター	6
2月11日～18日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
2月14日～15日	学生	学校法人志學館学園 志學館大学	26
合計 11 回			204

ウ 「ワールド・ファーストエイド・デー 2023」

国際赤十字・赤新月社連盟は、9月の第2土曜日を「World First Aid Day」と定めて救急法等の普及を世界各地で行っており、鹿児島県支部もこれに合わせて9月10日（日）に鹿児島市の商業施設(オプシアミスミ)で応急手当に関するパネル展示や体験ブースのイベントを開催し、232人の参加があった。



イベントの様子

エ 短期講習

県下各地域で164回実施し、10,289人の受講者があった。

(2) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 救助員養成講習 I

実施日	対象者	主催	受講者(人)
2月3日～4日、3月17日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15

イ 親子で体験！「海の安全教室」

水に親しみ、水の事故から命を守るために必要な知識・技術を学んでいただくことを目的に計画していたが、台風7号接近のため中止した。

ウ 短期講習

県下各地域で17回実施し、857人の受講者があった。

(3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に向けた生活の仕方や工夫を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

実施日	対象者	主催	受講者(人)
7月27日～28日	学生	鹿児島県立薩摩中央高等学校	11
10月14日～15日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	10
合計2回			21

イ 短期講習

県下各地域で27回実施し、938人の受講者があった。

(4) 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

実施日	対象者	主 催	受講者(人)
7月29日～30日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	17
8月29日～30日	学 生	学校法人原田学園 鹿児島キャリアデザイン専門学校	44
9月7日～8日	学 生	学校法人都築学園 第一幼児教育短期大学	10
11月11日～12日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
2月5日～7日	学 生	学校法人希望が丘学園 鳳凰高等学校	21
3月11日～12日	学 生	学校法人志學館学園 鹿児島女子短期大学	31
合計6回			138

イ 短期講習会

県下各地域で87回開催し、1,804人の受講者があった。

(5) 救急法等指導員の在籍状況

令和6年3月31日現在

区 分	支部職員(人)	施設職員(人)	ボランティア(人)	計(人)
救 急 法	5	24	75	104
水 上 安 全 法	1	10	30	41
健康生活支援講習	1	13	9	23
幼 児 安 全 法	2	9	25	36

4 赤十字奉仕団の活動

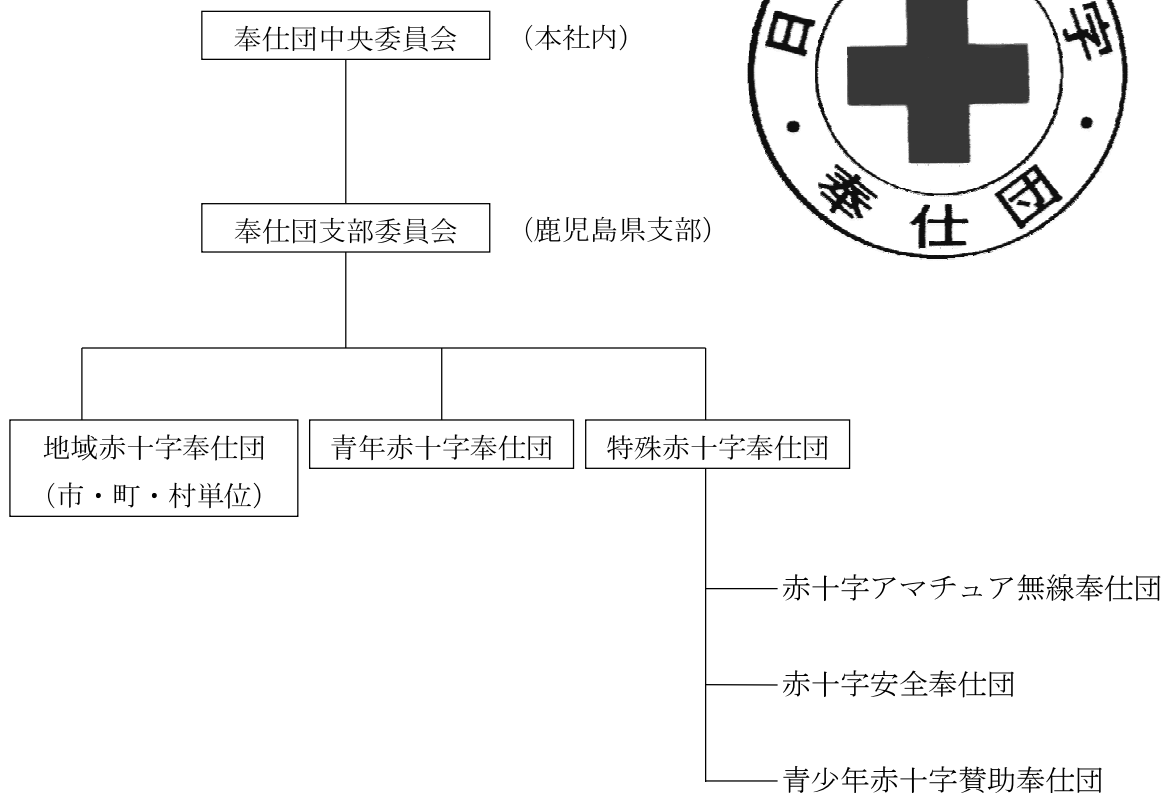
赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となつて人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

(1) 赤十字奉仕団組織図



(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数

令和6年3月31日現在

区 分	団数	団 員 数			
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
地 域 赤 十 字 奉 仕 団	57	181	11,115	11,296	
青 年 赤 十 字 奉 仕 団	1	3	6	9	
特殊奉仕団	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	316	8	324
	赤十字安全奉仕団	1	87	55	142
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	41	8	49
計	61	628	11,192	11,820	

(3) 地域赤十字奉仕団結成状況

令和6年3月31日現在

区 分	市町村数 (A)	奉仕団結成地域 (B)	奉仕団数	結 成 率 (B/A) (%)
市	19	16	40	84.2
町・村	24	17	17	70.8
計	43	33	57	76.7

(4) 総会及び研修会等開催状況

行 事 名	開 催 日	参加者(人)	会 場	主 催
赤十字安全奉仕団総会	4月22日	59	赤十字会館 (オンライン併用)	安全奉仕団
青年赤十字奉仕団総会	4月23日	5	赤十字会館	青年奉仕団
赤十字奉仕団鹿児島県 支部委員会	5月16日	10	県婦人会館	支部委員会 支 部
青少年赤十字賛助奉仕団総会	5月20日	21	赤十字会館	賛助奉仕団
赤十字奉仕団委員長会議	6月15日	43	県婦人会館	支 部
赤十字ボランティア リーダーシップ研修	11月7日	20	赤十字会館	支 部
九州ブロック 赤十字奉仕団委員長会議	能登半島地震 のため中止			沖縄県支部

(5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字に関する知識や奉仕団活動に必要な技術の習得及び奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に、次の19奉仕団で研修会を実施した。

奉仕団名	開催日	参加数(人)	会場
南九州市 頴娃	6月7日	20	南九州市知覧老人福祉センター
出水市	6月14日	30	出水市社会福祉会館
薩摩川内市 祁答院	7月11日	25	祁答院保健センター
始良市 始良	7月23日	50	建昌自治公民館
薩摩川内市 川内	7月28日	64	薩摩川内市総合福祉会館
宇検村	8月24日	18	宇検村地域福祉センター
奄美市 名瀬	8月25日	59	奄美市市民交流センター
奄美市 住用	8月25日	27	住用中央公民館
龍郷町	8月26日	35	龍郷町保健福祉センター
奄美市 笠利	8月26日	30	奄美市笠利農村改善センター
屋久島町	8月27日	23	縄文の苑
いちき串木野市	9月7日	40	袴田公民館
始良市 蒲生	10月13日	40	蒲生高齢者福祉センター
薩摩川内市 東郷	10月13日	22	東郷共同福祉施設
薩摩川内市 樋脇	10月17日	27	樋脇保健センター
霧島市 隼人	10月19日	22	宮内地区公民館
喜界町	10月28日	40	喜界町休養村管理センター
さつま町	11月8日	20	宮之城ひまわり館
霧島市 国分	11月17日	30	霧島市国分総合福祉センター

(6) 地域高齢者生活支援事業の実施

高齢者世帯を訪問し、声掛けや買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した次の22の地域奉仕団に対し、1団当たり3万円の活動費助成を行った。

- ・鹿児島市吉田
- ・鹿児島市郡山
- ・鹿児島市城山きずな
- ・指宿市指宿
- ・薩摩川内市川内
- ・薩摩川内市祁答院
- ・日置市伊集院
- ・日置市吹上
- ・霧島市国分
- ・霧島市隼人
- ・霧島市牧園
- ・南さつま市
- ・志布志市志布志
- ・志布志市有明
- ・奄美市住用
- ・始良市始良
- ・始良市加治木
- ・始良市蒲生
- ・さつま町
- ・屋久島町
- ・徳之島町
- ・和泊町

(7) 赤十字奉仕団登録一覧表

令和6年3月31日現在

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)			奉仕団名	結成年月日	団員数(人)		
		男	女	合計			男	女	合計
鹿児島中央	S41.4.1	0	201	201	南九州市川辺	S24.12.1	0	34	34
鹿児島市谷山	S52.4.1	0	25	25	伊佐市	H2.10.5	52	99	151
鹿児島市吉田	S24.12.1	0	18	18	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21
鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30	姶良市加治木	R2.4.1	0	70	70
鹿児島市城山さすな	R2.4.1	0	5	5	姶良市蒲生	S24.12.1	0	70	70
鹿屋市	S24.12.1	0	100	100	さつま町	S24.12.1	0	18	18
出水市	H10.3.19	4	79	83	大崎町	S56.4.1	0	35	35
指宿市指宿	S24.12.1	0	26	26	錦江町※	S24.12.1			
指宿市山川	S24.12.1	0	35	35	南大隅町	S24.12.1	0	150	150
西之表市	S24.12.1	0	29	29	肝付町	S24.12.1	0	85	85
薩摩川内市川内	H3.4.17	0	149	149	南種子町	S52.4.1	0	413	413
薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	30	30	屋久島町	S24.12.1	0	60	60
薩摩川内市入来	S56.4.1	0	40	40	宇檢村	H5.7.1	0	45	45
薩摩川内市東郷	S24.12.1	2	108	110	瀬戸内町	S62.4.28	0	330	330
薩摩川内市祁答院	S24.12.1	0	59	59	龍郷町	S62.5.10	0	600	600
薩摩川内市下甕	H28.4.1	10	32	42	喜界町	H2.5.17	0	580	580
日置市東市来	S24.12.1	0	10	10	徳之島町	H元.4.1	0	650	650
日置市伊集院	S24.12.1	0	70	70	天城町	H元.4.1	0	700	700
日置市日吉	S24.12.1	0	100	100	伊仙町	H元.7.1	0	240	240
日置市吹上	S56.4.1	0	233	233	和泊町	S59.8.15	0	290	290
曾於市大隅	S30.4.1	15	90	105	知名町	S62.6.1	10	16	26
曾於市財部	S38.4.1	27	62	89	与論町	S62.5.1	0	31	31
曾於市末吉	S52.4.1	57	235	292	地域奉仕団 計57団		181	11,115	11,296
霧島市国分	S24.12.1	0	346	346					
霧島市牧園	S24.12.1	4	111	115	青年	S30.4.1	3	6	9
霧島市霧島	S24.12.1	0	23	23	青年奉仕団 計1団		3	6	9
霧島市隼人	S24.12.1	0	350	350					
いちき串木野市	S24.12.1	0	2,787	2,787	安全	S54.2.17	87	55	142
南さつま市	S24.12.1	0	225	225	アマチュア無線	S50.4.1	316	8	324
志布志市志布志	S56.4.1	0	50	50	賛助	H14.11.13	41	8	49
志布志市有明	S24.12.1	0	50	50	特殊奉仕団 計3団		444	71	515
奄美市名瀬	S60.9.1	0	240	240	総計 61団		628	11,192	11,820
奄美市住用	H元.7.1	0	102	102					
奄美市笠利	S62.9.1	0	470	470	※錦江町地域赤十字奉仕団は活動休止(令和3年度～)				
南九州市穎娃	S24.12.1	0	58	58					

5 青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進しており、活動の充実のために、児童・生徒対象の研修会や、各学校・園の指導者向けの講習会を行った。

わたくしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます

ち
か
い



実践目標

国際理解・親善
奉仕
健康・安全

態度目標

実行する
考え
気づき

(1) 校種別加盟状況

令和6年3月31日現在

区 分	加盟学校(園)	メンバー(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)	児童生徒(人)
幼稚園	13	1,203	114	5,655
保育園	26	1,114	-	-
認定こども園	19	1,901	268	17,895
小学校	258	45,145	483	85,941
中学校	103	20,737	214	45,318
義務教育学校	6	792	10	1,394
高等学校	21	11,654	89	40,749
特別支援学校	3	384	17	2,713
合 計	449	82,930	1,195	199,665

※鹿児島県内の学校(園)数、児童生徒数(保育園を除く)は令和5年4月6日現在。

(休校中の学校は除く。令和5年度「鹿児島県の教育行政」より)

県内の保育園の園数・園児数については統計資料なし。

(2) 加盟校の推移

年 度	区 分	幼・保・こ	小学校	中学校	義務教育	高校	特別支援	小～特 小計	合計
令和5年	学校（園）数	58	258	103	6	21	3	391	449
	県加盟校率	-	53.4	48.1	60.0	23.6	17.6	48.1	-
	メンバー数	4,218	45,145	20,737	792	11,654	384	78,712	82,930
	県メンバー率	-	52.5	45.8	56.8	28.6	14.2	44.7	-
令和4年	学校（園）数	60	269	109	6	23	3	410	470
	県加盟校率	-	55.1	50.5	66.7	25.8	17.6	50.1	-
	メンバー数	4,519	47,192	21,818	583	11,702	397	81,692	86,211
	県メンバー率	-	53.8	48.0	60.0	28.4	14.9	45.9	-
令和3年	学校（園）数	62	283	116	6	24	4	433	495
	県加盟校率	-	57.5	53.7	66.7	27.0	23.5	52.6	-
	メンバー数	4,871	50,073	22,883	586	10,696	323	84,561	89,432
	県メンバー率	-	56.5	50.5	59.0	25.6	12.5	47.2	-

(3) 会議等の参加及び開催

	行 事 名	開 催 日	会 場	参 加 者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会 (オンライン会議)	4月6日	赤十字会館	JRC 担当
	青少年赤十字全国指導者協議会 総会	6月30日	本 社	会 長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団 総会役員会	7月11日・12日	本 社	委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会 会長・担当者会議(オンライン会議)	2月27日	赤十字会館	会 長 JRC 担当
支部	青少年赤十字指導者協議会総会	5月20日	赤十字会館	58人

(4) 研修活動

	行 事 名	開 催 日	会 場	参加者等 (人)
本社	青少年赤十字L・T・C 指導者養成講習会	5月26日～28日	国立 オリンピックセンター	指導者 1
	指導主事対象青少年赤十字研究会	1月12日	日本赤十字社 本社	指導主事 1
	青少年赤十字国際交流事業	11月23日～26日	国立 オリンピックセンター	参加者なし
	青少年赤十字スタディー・センター	3月22日～26日	山中湖村 東照館	高校生 1
九州	九州ブロック青少年赤十字指導者養成講習会	8月20日～21日	佐賀県	指導者 1
支部	校長・教頭・指導主事等対象青少年赤十字研修会	6月24日	赤十字会館	16
	青少年赤十字指導者講習会Ⅰ	7月1日	赤十字会館	11
	夏季青少年赤十字L・T・C	8月5日～7日	南薩少年 自然の家	中止
	青少年赤十字指導者講習会Ⅱ	8月23日	赤十字会館	8
	青少年赤十字高校協議会 秋季総会	9月10日	赤十字会館	7
	小学校一日L・T・C	11月25日	赤十字会館	11
	中学校一日L・T・C	11月25日	赤十字会館	20
	研究推進校研究発表会	11月30日	鹿屋市立 串良小学校	48
	青少年赤十字高校協議会 春季総会	3月10日	赤十字会館	中止

※L・T・C = リーダーシップ・トレーニング・センター



研究推進校(串良小学校)研究発表会



中学校一日L・T・C

(5) 青少年赤十字研究推進校研究発表会

令和4・5年度青少年赤十字研究推進校の鹿屋市立串良小学校で、研究の成果発表会が行われた。

- ・研究テーマ：気づき・考え・実行する力を育む特別活動
～学級活動と児童会活動の充実を図る指導の在り方～
- ・成果発表会：令和5年11月30日(木) 参加者：48人

(6) 高校協議会の活動

- ア 月例会の開催（月1回）
- イ 特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問
新型コロナウイルス感染症の影響により訪問を自粛した。
- ウ 献血ルームでのボランティア
献血ルームでの献血の呼びかけなどを実施。

(7) 青少年赤十字100文字作文コンクール

加盟校の児童・生徒を対象に、毎年100文字作文コンクールを実施している。

※ 令和5年度作品応募 78校 9,318点

(8) 機関紙の発行

- ・青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第41号）」 2,000部
- ・青少年赤十字賛助奉仕団会報「さくらじま(第13号)」 850部

(9) その他の青少年赤十字活動

- ア NHK海外たすけあい街頭募金への参加
毎年12月に県内各地において、海外たすけあい募金活動を行っている。
- イ 病気見舞カードの作成
病院に入院されている人々に病気お見舞いカードを送付している。
- ウ 使用済み切手・書損じはがきの回収
取扱団体が換金し、アジア、アフリカの医療に恵まれない人々の保健医療の面でのサポートの資金として活用される。
- エ ペットボトル・キャップの回収
取扱団体が換金し、予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代等として活用される。
- オ 1円玉募金の実施
2カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。
- カ プルタブの回収
学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、1円玉募金として本社に送金している。

(10) 校種別加盟校名簿

ア 保育園・幼稚園・認定こども園

令和6年3月31日現在

市 町 村	保 育 園	幼 稚 園	認 定 こ ど も 園
鹿 児 島 市	真砂、武 ほびあこども、柳田 南林寺、玉里、西紫原 清水、あたご、下伊敷 田上、鴨池、薬師 吉野、松原、なぎさ	太陽の子、鴨池しらうめ 鹿児島、武 鹿女短附属かもめ 鹿女短附属すみれ	玉里善き牧者、清谿 谷山善き牧者、若葉 辻ヶ丘、桜ヶ丘中央
鹿 屋 市			信愛こどもの園 いずみ
指 宿 市		柳和、指宿	
垂 水 市		江ノ島	
薩摩川内市	高城、大村、隈之城 青山、勝目、あさひ	ひわき、かのこ	青山、善福寺、びぼあ
日 置 市 曾 於 市	あづま	土橋	大隅中央
始 良 市	川野		
霧 島 市			かとれあ、あおば
南さつま市		加世田しらうめ	
南九州市			颯娃
さつま町			恵光
肝 付 町			おおぞら、あけぼの
屋 久 島 町			すみれ
和 泊 町	わどまり		
知 名 町	しらゆり		
計	26園	13園	19園

市 町 村	小 学 校	中 学 校
鹿児島市	大明丘、名山、山下、城南、原良 明和、武岡、清水、福平、武 田上、広木、中洲、中名、八幡 鴨池、南、桜丘東、宇宿 向陽、伊敷、伊敷台、花野、黒神 谷山、吉野東、坂元台、清和、平川 坂元、中郡、花尾、皇徳寺、本名 宮、本城、牟礼岡、桜洲、東桜島 前之浜、石谷、春山、南方 生見、喜入、桜峰、瀬々串、西田 西紫原、大龍、西伊敷、吉田 東谷山、星峯東	甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、桜丘、松元 吉野、星峯、喜入
鹿屋市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大始良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大始良、細山田、高隈 田崎
枕崎市	枕崎、立神	立神
阿久根市	阿久根、脇本、大川	三笠
出水市	出水、西出水、米ノ津、米ノ津東 上場、野田、下水流、	出水、高尾野、※鶴荘学園 米ノ津
指宿市	今和泉、開聞、川尻	南指宿、西指宿
西之表市	下西、上西、伊関、古田	
垂水市	柗原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、育英 副田、藺牟田、大裏、城上、手打 黒木、入来、市比野、	入来、祁答院 里、海星 水引、※東郷学園 れいめい中学校
日置市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉	土橋、鹿児島育英館 伊集院
曾於市	笠木、諏訪、岩北、櫛 深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧島市	国分、横川、安良、佐々木、中津川 霧島、小浜、福山、中福良 万膳、大田、国分南、塚脇	国分、牧園 隼人、溝辺、横川 牧之原

市 町 村	小 学 校	中 学 校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 川上、神村学園初等部	串木野西、生冠、市来 神村学園中等部
南さつま市	加世田、笠沙、長屋、川畑 ◎大浦	加世田、◎万世、◎※金峰学園
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、宇都
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田、崎原	小宿、崎原
南九州市	別府、松ヶ浦、大丸 中福良、霜出、九玉、川辺、勝目	川辺
伊佐市	大口東、羽月、曾木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
始良市	三船、北山、加治木、帖佐 漆、西浦、蒲生	山田
三島村		※三島硫黄島学園、※大里学園 ※竹島学園
十島村	平島	平島
さつま町	永野、柏原	宮之城
長島町	城川内、◎伊唐	川床、長島、鷹巣
湧水町		吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	大原	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	波野、内之浦、国見	
中種子町	星原	
南種子町	花峰、莖南、大川、平山、長谷	
屋久島町	金岳、八幡、神山	金岳、安房
大和村	大棚、今里	大和
宇検村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	薩川、諸鈍、伊子茂 与路、阿木名、池池	諸鈍、伊子茂 阿木名、与路、池地
龍郷町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、手々、 山、尾母、亀徳	井之川、亀津、東天城、手々、山、尾母
天城町	兼久	北
伊仙町	喜念、糸木名、◎犬田布	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	下平川、上城	田皆
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	258校	103校 ※6校

◎は令和5年度に新規加盟 ※は義務教育学校

ウ 高等学校・特別支援学校

令和6年3月31日現在

市 町 村	高 等 学 校 ・ 特 別 支 援 学 校
鹿 児 島 市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島情報、鹿児島女子、 甲南、樟南、武岡台、鹿児島純心女子
鹿 屋 市	鹿屋特別支援学校
枕 崎 市	鹿児島水産
指 宿 市	指宿、指宿特別支援学校
薩 摩 川 内 市	れいめい高等学校
日 置 市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧 島 市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園高等部
南 さ つ ま 市	鳳凰、加世田常潤
志 布 志 市	尚志館
南 九 州 市	薩南工業
中 種 子 町	中種子特別支援学校
与 論 町	与論
計	24校

高校21校、特別支援学校3校

6 国 際 活 動

日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字社、赤新月社等の一員として、赤十字国際委員会及び国際赤十字・赤新月社連盟と連携して、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する救援活動や、発展途上国に対する開発協力等を行っている。

(1) 国際活動事業への参加

日本赤十字社がインドネシア赤十字社の防災ボランティアの育成等の取組みを支援するために実施する「インドネシア・コミュニティ防災事業」に参画し、事業費の支援を行った。（支援額：1,000千円）

(2) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集

12月1日から25日まで、日本放送協会（NHK）及び社会福祉法人NHK厚生文化事業団との共催で「第41回NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

県内6会場で実施した街頭募金活動を含め、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。（寄付金総額：4,642,631円）



街頭募金の様子（天文館）



街頭募金の様子（加世田）

(3) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

令和6年3月31日現在

救 援 金 の 名 称 (受 付 期 間)	件 数	金 額 (円)
中 東 人 道 危 機 救 援 金 (平成27年4月1日～令和7年3月31日)	1 (5)	237 (57,951)
バングラデシュ南部避難民救援金 (平成29年9月22日～令和7年3月31日)	2 (5)	10,326 (17,463)
アフガニスタン人道危機救援金 (令和3年9月22日～令和7年3月31日)	1 (5)	277 (71,277)
ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～令和7年3月31日)	34 (162)	552,451 (12,265,867)
2023年トルコ・シリア地震救援金 (令和5年2月9日～令和5年5月31日)	27 (118)	20,781,827 (28,406,302)
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金 (令和5年8月18日～令和5年10月31日)	4	6,766
2023年モロッコ地震救援金 (令和5年9月12日～令和5年11月30日)	3	24,000
2023年リビア洪水救援金 (令和5年9月14日～令和5年11月30日)	2	13,000
2023年アフガニスタン地震救援金 (令和5年10月11日～令和5年12月29日)	2	10,210
イスラエル・ガザ人道危機救援金 (令和5年10月17日～令和6年9月30日)	6	52,583
海 外 救 援 金 (通期)	1 (2)	50,000 (51,923)
合 計	83	21,501,677

※件数及び金額の（ ）は、受付期間中の累計。

7 広 報 活 動

赤十字に対する県民のご理解とご協力の促進を図るため、5月の赤十字運動月間を中心に、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材を提供し、赤十字思想の普及に活用していただいた。

(1) 5月の赤十字運動月間における広報

ア 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2023」の実施

㈱山形屋及び㈱JR鹿児島シティにご協力いただき、5月8日(月)の「世界赤十字デー」を中心に、山形屋1号館及びアミュプラザ鹿児島のアミュラン(観覧車)を赤色にライトアップし、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進を図るとともに、山形屋1号館に懸垂幕を掲出し、赤十字活動資金への協力の呼びかけを行った。

また、㈱丸屋本社にご協力いただき、マルヤガーデンズでデジタルサイネージによるポスター掲示並びにパンフレットの設置を行った。



山形屋1号館



アミュラン (アミュプラザ鹿児島)

(2) 各種イベント等の活用による広報

ア 社会福祉大会での広報

各市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」において、非常食の炊出し、事業紹介パネル等の展示を行い、赤十字活動の周知に努めた。



薩摩川内市社会福祉フェスタ



垂水市社会福祉大会

イ 地域イベントでの広報

鹿児島市主催の「元気フェスタ in かんまちあ」や霧島市宮内地区で開催された防災フェスタにおいて、救援物資やパネル展示、救護服試着体験、三角巾などを用いた応急手当等の体験講習を行い、赤十字活動のPRを行った。



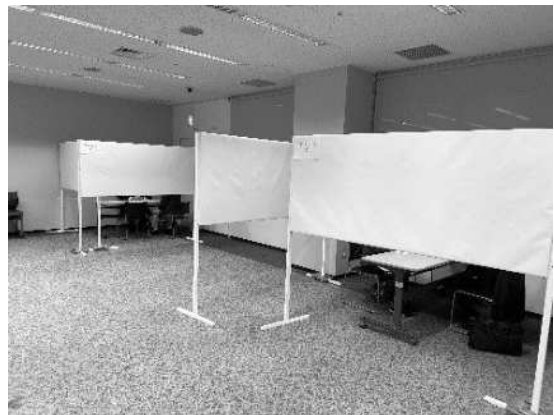
元気フェスタ in かんまちあ



宮内地区防災フェスタ

ウ 司法書士会との協働セミナーの開催

日本赤十字社と日本司法書士会連合会の包括パートナーシップ協定に基づき、令和5年12月2日(土)に、鹿児島県司法書士会と共催で「司法書士による遺言・相続講座」及び個別相談会を開催し、赤十字活動のPR並びに遺贈・相続財産寄付の説明を行った。



(3) 見学誘致による広報

地域団体や学生等の研修視察場所として赤十字会館をご見学いただき、本県支部の事業内容及び会費の使途等について説明を行い、社資協力に対する理解促進に努めた。



(4) 刊行物による広報

ア 支部発行

機関紙「赤十字かごしま」	年2回	60,800部
事業年報	年1回	540部
事業計画	〃	150部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	〃	312,000部

イ 本社発行

赤十字新聞	月刊	20,320部
パンフレット	年1回	7,000部
ポスター	〃	2,150部

(5) 各報道機関等による広報

ア コミュニティラジオでの広報

鹿児島市のコミュニティFM（FMぎんが）の番組に支部職員が月に1回出演し、赤十字の活動や歴史などを紹介した。

※出演番組：「かごコネの会話のコンパス円卓RADIO」（水曜日10:00～）
（FM78.6MHz又はFM++（FMプラプラ）の無料アプリから視聴可能）



ラジオでの広報活動の様子

イ WEBサイトやSNSでの広報

県支部WEBサイトやFacebook、Instagramを活用して、赤十字事業や各種の情報について広く県民各層に紹介した。

- 県支部WEBサイト URL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>
- 県支部公式Instagram ID : @nisseki_kagoshima
- 県支部公式Facebook ID : @jrc.kagoshima

8 赤 十 字 大 会

(1) 全国赤十字大会

日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席の下、5月18日(木)に東京明治神宮会館で開催され、本県支部から28人が出席した。

(2) 九州八県赤十字大会

11月16日(木)に佐賀県のSAGAアリーナで開催され、本県支部から31人が出席した。

・本県の受章(彰)者(社)

金色有功章 12件、銀色有功章 19件、日本赤十字社社長感謝状 17件

(3) 鹿児島県赤十字有功会総会

7月19日(水)にホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員等43人が出席した。

・協議事項等 令和4年度事業報告及び収支決算
令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)
理事及び監事の選出

・記念講演 「博愛社設立と西南戦争秘話」
福田賢治氏(維新ふるさと館前特別顧問)

9 会 員 増 強 運 動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からお寄せいただく社資(会費や寄付金)によって支えられており、5月の「会員増強運動月間」を中心に、各地区・分区等関係者のご協力のもと、その増強に努めた。

また、継続的な社資の納入に加え、赤十字の事業・活動に積極的に協力していただける企業(赤十字サポーター)の募集に努めた。

(1) 令和5年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移

区 分	目標額(千円)	実績額(円)	達成率(%)	
令和元年度	一般会費	228,000	186,508,131	81.8
	法人会費	32,000	18,445,979	57.6
	計	260,000	204,954,110	78.8
令和2年度	一般会費	228,000	214,292,982	94.0
	法人会費	32,000	31,444,099	98.3
	計	260,000	245,737,081	94.5
令和3年度	一般会費	218,000	212,046,444	97.3
	法人会費	32,000	29,706,915	92.8
	計	250,000	241,753,359	96.7
令和4年度	一般会費	218,000	179,439,942	82.3
	法人会費	32,000	35,173,601	109.9
	計	250,000	214,613,543	85.8
令和5年度	一般会費	218,000	185,057,780	84.9
	法人会費	32,000	23,783,293	74.3
	計	250,000	208,841,073	83.5

(2) 令和5年度地区・分区分社資納入状況一覧表 (対社資目標額比較)

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
鹿児島市	91,009,500	48,290,893	53.1%
鹿児島地域	84,728,500	43,693,973	51.6%
吉田地域	1,423,500	745,725	52.4%
桜島地域	447,000	573,800	128.4%
松元地域	2,021,000	867,545	42.9%
郡山地域	927,500	791,400	85.3%
喜入地域	1,462,000	1,618,450	110.7%
鹿屋市	14,761,500	8,889,150	60.2%
鹿屋地域	11,767,500	6,158,278	52.3%
輝北支所	451,500	506,371	112.2%
串良支所	1,689,000	1,531,501	90.7%
吾平支所	853,500	693,000	81.2%
枕崎市	2,949,500	2,937,200	99.6%
阿久根市	2,708,500	2,873,503	106.1%
出水市	7,298,500	7,624,994	104.5%
出水地域	5,091,000	3,858,243	75.8%
野田支所	529,000	894,500	169.1%
高尾野支所	1,678,500	2,872,251	171.1%
指宿市	5,608,500	6,640,624	118.4%
指宿地域	3,677,500	4,105,887	111.6%
山川支所	1,200,000	1,598,237	133.2%
開聞支所	731,000	936,500	128.1%
西之表市	2,211,000	1,798,456	81.3%
垂水市	2,060,000	2,692,119	130.7%
薩摩川内市	13,174,000	13,707,033	104.0%
川内分区分	9,830,000	9,822,772	99.9%
樋脇分区分	883,500	895,000	101.3%
入来分区分	654,000	779,000	119.1%
東郷分区分	654,000	883,000	135.0%
萩原分区分	449,000	574,561	128.0%
上飯分区分	353,500	473,700	134.0%
下飯分区分	350,000	279,000	79.7%
日置市	6,206,000	7,397,034	119.2%
東市来分区分	1,452,000	1,924,671	132.6%
伊集院分区分	3,073,500	3,432,862	111.7%
日吉分区分	616,500	837,500	135.8%
吹上分区分	1,064,000	1,202,001	113.0%
曾於市	4,745,000	5,007,004	105.5%
大隅分区分	1,309,500	1,407,001	107.4%
財部分区分	1,031,000	1,380,001	133.9%
末吉分区分	2,404,500	2,220,002	92.3%
霧島市	18,044,500	14,964,198	82.9%
国分地域	8,395,000	6,345,395	75.6%
隼入分室	5,496,000	3,715,952	67.6%
溝辺分室	1,122,500	1,328,001	118.3%
横川分室	572,500	753,000	131.5%
牧園分室	1,031,500	1,050,850	101.9%
霧島分室	685,500	895,000	130.6%
福山分室	741,500	876,000	118.1%
いちき串木野市	3,815,500	4,218,250	110.6%
南さつま市	4,536,500	5,989,073	132.0%
加世田地域	2,808,000	3,575,840	127.3%
笠沙支所	328,000	413,500	126.1%
大浦支所	251,500	403,132	160.3%
坊津支所	387,000	526,500	136.0%
金峰支所	762,000	1,070,101	140.4%
志布志市	4,260,000	4,051,601	95.1%
志布志地域	2,362,000	2,093,901	88.6%
松山支所	513,000	589,500	114.9%
有明支所	1,385,000	1,368,200	98.8%
奄美市	6,385,500	2,649,025	41.5%
名瀬地域	3,589,000	1,753,125	31.4%
笠利分区分	796,500	895,900	112.5%
南九州市	4,606,500	5,616,350	121.9%
穎娃分区分	1,632,500	1,696,200	103.9%
知覧分区分	1,478,000	1,781,150	120.5%
川辺分区分	1,496,000	2,139,000	143.0%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
伊佐市	3,616,000	4,360,953	120.6%
大口分区分	2,585,000	3,218,052	124.5%
菱刈地域	1,031,000	1,142,901	110.9%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
始良市	10,591,000	8,292,415	78.3%
始良地域	6,750,500	2,925,707	43.3%
加治木支所	3,018,500	4,372,408	144.9%
蒲生支所	822,000	994,300	121.0%
小計	208,587,500	157,999,875	75.7%

三島村	61,000	91,500	150.0%
十島村	118,000	111,700	94.7%
小計	179,000	203,200	113.5%

さつま町	2,892,000	3,790,110	131.1%
小計	2,892,000	3,790,110	131.1%

長島町	1,270,000	1,794,003	141.3%
小計	1,270,000	1,794,003	141.3%

湧水町	1,294,000	1,544,500	119.4%
小計	1,294,000	1,544,500	119.4%

大崎町	1,853,500	1,569,500	84.7%
小計	1,853,500	1,569,500	84.7%

東串良町	902,000	1,004,755	111.4%
錦江町	975,000	1,323,500	135.7%
南大隅町	970,500	1,278,000	131.7%
肝付町	1,990,000	12,576,876	632.0%
小計	4,837,500	16,183,131	334.5%

中種子町	1,137,000	1,157,500	101.8%
南種子町	856,000	590,000	68.9%
屋久島町	1,875,500	2,468,451	131.6%
小計	3,868,500	4,215,951	109.0%

大和村	222,500	270,933	121.8%
宇檢村	243,000	555,850	228.7%
瀬戸内町	1,339,000	784,671	58.6%
龍郷町	830,500	949,923	114.4%
喜界町	1,005,000	1,234,000	122.8%
徳之島町	1,504,500	2,054,698	136.6%
天城町	793,500	1,068,950	134.7%
伊仙町	863,500	696,200	80.6%
和泊町	900,500	960,000	106.6%
知名町	839,500	1,164,500	138.7%
与論町	676,500	933,100	137.9%
小計	9,218,000	10,672,825	115.8%

市地区計	208,587,500	157,999,875	75.7%
郡地区計	25,412,500	39,973,220	157.3%
市郡地区計	234,000,000	197,973,095	84.6%

支部	10,867,978
地区DM	32,423,875
地区送納書	161,957,544
本社	3,591,676
合計	208,841,073

(3) 令和5年度地区・分区分別社資納入状況一覧表 (対前年度比較)

地区・分区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	対前年(%)
鹿児島市	48,290,893	61,557,661	78.4%
鹿児島地域	43,693,973	56,824,301	76.9%
吉田地域	745,725	765,450	97.4%
桜島地域	573,800	594,500	96.5%
松元地域	867,545	1,020,160	85.0%
郡山地域	791,400	828,200	95.6%
喜入地域	1,618,450	1,525,050	106.1%
鹿屋市	8,889,150	9,791,800	90.8%
鹿屋地域	6,158,278	7,028,299	87.6%
輝北支所	506,371	520,500	97.3%
串良支所	1,531,501	1,567,001	97.7%
吾平支所	693,000	676,000	102.5%
枕崎市	2,937,200	3,047,500	96.4%
阿久根市	2,873,503	3,033,902	94.7%
出水市	7,624,994	6,704,637	113.7%
出水地域	3,858,243	3,956,136	97.5%
野田支所	894,500	972,000	92.0%
高尾野支所	2,872,251	1,776,501	161.7%
指宿市	6,640,624	6,082,837	109.2%
指宿地域	4,105,887	3,621,837	113.4%
山川支所	1,598,237	1,514,000	105.6%
開聞支所	936,500	947,000	98.9%
西之表市	1,798,456	1,733,473	103.7%
垂水市	2,692,119	2,669,200	100.9%
薩摩川内市	13,707,033	13,893,474	98.7%
川内分区分	9,822,772	9,907,307	99.1%
樋脇分区分	895,000	922,001	97.1%
入来分区分	779,000	755,000	103.2%
東郷分区分	883,000	897,500	98.4%
祁答院分区分	574,561	602,666	95.3%
上飯分区分	473,700	494,000	95.9%
下飯分区分	279,000	315,000	88.6%
日置市	7,397,034	7,577,064	97.6%
東市来分区分	1,924,671	1,913,001	100.6%
伊集院分区分	3,432,862	3,561,562	96.4%
日吉分区分	837,500	852,000	98.3%
吹上分区分	1,202,001	1,250,501	96.1%
曾於市	5,007,004	5,226,004	95.8%
大隅分区分	1,407,001	1,435,501	98.0%
財部分区分	1,380,001	1,498,501	92.1%
末吉分区分	2,220,002	2,292,002	96.9%
霧島市	14,964,198	14,234,684	105.1%
国分地域	6,345,395	6,039,057	105.1%
隼人分室	3,715,952	3,524,926	105.4%
溝辺分室	1,328,001	1,341,001	99.0%
横川分室	753,000	684,500	110.0%
牧園分室	1,050,850	1,064,700	98.7%
霧島分室	895,000	701,000	127.7%
福山分室	876,000	879,500	99.6%
いちき串木野市	4,218,250	4,264,000	98.9%
南さつま市	5,989,073	6,133,068	97.7%
加世田地域	3,575,840	3,520,157	101.6%
笠沙支所	413,500	503,910	82.1%
大浦支所	403,132	432,000	93.3%
坊津支所	526,500	531,000	99.2%
金峰支所	1,070,101	1,146,001	93.4%
志布志市	4,051,601	4,275,727	94.8%
志布志地域	2,093,901	2,584,327	81.0%
松山支所	589,500	594,000	99.2%
有明支所	1,368,200	1,097,400	124.7%
奄美市	2,649,025	3,418,061	77.5%
名瀬地域	1,753,125	2,361,561	74.2%
笠利分区分	895,900	1,056,500	84.8%
南九州市	5,616,350	5,843,400	96.1%
川辺分区分	2,139,000	2,169,000	98.6%
知覧分区分	1,781,150	1,848,000	96.4%
穎娃分区分	1,696,200	1,826,400	92.9%

地区・分区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	対前年(%)
伊佐市	4,360,953	4,438,153	98.3%
大口分区分	3,218,052	3,280,952	98.1%
菱刈地域	1,142,901	1,157,201	98.8%

地区・分区分	令和5年度(円)	令和4年度(円)	対前年(%)
始良市	8,292,415	6,536,418	126.9%
始良地域	2,925,707	2,759,744	106.0%
加治木支所	4,372,408	2,728,173	160.3%
蒲生支所	994,300	1,048,501	94.8%
小計	157,999,875	170,461,063	92.7%

三島村	91,500	85,000	107.6%
十島村	111,700	131,500	84.9%
小計	203,200	216,500	93.9%

さつま町	3,790,110	3,585,500	105.7%
小計	3,790,110	3,585,500	105.7%

長島町	1,794,003	1,684,960	106.5%
小計	1,794,003	1,684,960	106.5%

湧水町	1,544,500	1,580,500	97.7%
小計	1,544,500	1,580,500	97.7%

大崎町	1,569,500	1,662,501	94.4%
小計	1,569,500	1,662,501	94.4%

東串良町	1,004,755	1,027,260	97.8%
錦江町	1,323,500	1,363,000	97.1%
南大隅町	1,278,000	1,312,500	97.4%
肝付町	12,576,876	2,658,904	473.0%
小計	16,183,131	6,361,664	254.4%

中種子町	1,157,500	1,200,000	96.5%
南種子町	590,000	618,500	95.4%
屋久島町	2,468,451	2,731,920	90.4%
小計	4,215,951	4,550,420	92.6%

大和村	270,933	314,000	86.3%
宇檢村	555,850	513,650	108.2%
瀬戸内町	784,671	1,143,438	68.6%
龍郷町	949,923	1,196,145	79.4%
喜界町	1,234,000	1,232,000	100.2%
徳之島町	2,054,698	2,014,501	102.0%
天城町	1,068,950	1,146,000	93.3%
伊仙町	696,200	770,000	90.4%
和泊町	960,000	1,013,500	94.7%
知名町	1,164,500	1,068,500	109.0%
与論町	933,100	1,051,300	88.8%
小計	10,672,825	11,463,034	93.1%

市地区計	157,999,875	170,461,063	92.7%
郡地区計	39,973,220	31,105,079	128.5%
市郡地区計	197,973,095	201,566,142	98.2%

支 部	10,867,978	13,047,401	83.3%
地区DM	32,423,875	29,893,021	108.5%
地区送納書	161,957,544	169,049,821	95.8%
本社	3,591,676	2,623,300	136.9%
合計	208,841,073	214,613,543	97.3%

(4) 令和5年度地区・分区别会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和5年度 件数	令和4年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
A+B=C	D	C-D							
鹿児島市	39,064	215	222	160	39,661	506	40,167	43,565	-3,398
鹿児島地域	33,323	211	218	150	33,902	498	34,400	37,579	-3,179
吉田地域	964	1	0	2	967	2	969	1,039	-70
桜島地域	1,039	0	1	0	1,040	0	1,040	1,079	-39
松元地域	816	0	0	0	816	3	819	865	-46
郡山地域	1,118	3	2	0	1,123	3	1,126	1,125	1
喜入地域	1,804	0	1	8	1,813	0	1,813	1,878	-65
鹿屋市	14,090	167	80	23	14,360	81	14,441	14,667	-226
鹿屋地域	8,967	167	79	20	9,233	73	9,306	9,435	-129
輝北支所	1,010	0	0	0	1,010	0	1,010	1,022	-12
串良支所	2,906	0	1	2	2,909	4	2,913	2,944	-31
吾平支所	1,207	0	0	1	1,208	4	1,212	1,266	-54
枕崎市	5,405	17	7	1	5,430	23	5,453	5,649	-196
阿久根市	5,368	0	2	8	5,378	9	5,387	5,781	-394
出水市	10,751	216	17	14	10,998	50	11,048	11,411	-363
出水地域	6,366	136	14	11	6,527	31	6,558	6,860	-302
野田支所	1,251	72	0	1	1,324	7	1,331	1,323	8
高尾野支所	3,134	8	3	2	3,147	12	3,159	3,228	-69
指宿市	9,838	188	30	11	10,067	22	10,089	10,506	-417
指宿地域	5,423	42	26	8	5,499	19	5,518	5,766	-248
山川支所	2,548	146	3	3	2,700	3	2,703	2,846	-143
開闢支所	1,867	0	1	0	1,868	0	1,868	1,894	-26
西之表市	2,791	37	3	3	2,834	10	2,844	3,002	-158
垂水市	4,905	6	8	4	4,923	8	4,931	5,070	-139
薩摩川内市	24,653	75	19	17	24,764	74	24,838	25,153	-315
川内分区	17,430	0	13	11	17,454	69	17,523	17,557	-34
樋脇分区	1,646	10	2	4	1,662	0	1,662	1,715	-53
入来分区	1,434	0	0	0	1,434	3	1,437	1,461	-24
東郷分区	1,686	27	0	1	1,714	1	1,715	1,750	-35
祁答院分区	1,075	0	4	1	1,080	1	1,081	1,106	-25
上甕分区	836	32	0	0	868	0	868	940	-72
下甕分区	546	6	0	0	552	0	552	624	-72
日置市	14,329	52	21	5	14,407	1	14,408	14,785	-377
東市来分区	3,777	1	1	2	3,781	0	3,781	3,765	16
伊集院分区	6,497	50	16	3	6,566	1	6,567	6,844	-277
日吉分区	1,673	1	0	0	1,674	0	1,674	1,700	-26
吹上分区	2,382	0	4	0	2,386	0	2,386	2,476	-90
曾於市	9,047	79	27	2	9,155	20	9,175	9,507	-332
大隅分区	2,543	44	1	1	2,589	7	2,596	2,778	-182
財部分区	2,484	0	12	0	2,496	8	2,504	2,541	-37
末吉分区	4,020	35	14	1	4,070	5	4,075	4,188	-113
霧島市	23,282	141	47	16	23,486	54	23,540	24,755	-1,215
国分地域	9,763	56	19	7	9,845	25	9,870	10,002	-132
隼人分室	5,397	34	16	5	5,452	14	5,466	6,379	-913
溝辺分室	2,170	0	5	2	2,177	7	2,184	2,195	-11
横川分室	1,300	0	1	0	1,301	2	1,303	1,331	-28
牧園分室	1,868	50	3	0	1,921	2	1,923	1,949	-26
霧島分室	1,138	1	1	1	1,141	2	1,143	1,173	-30
福山分室	1,646	0	2	1	1,649	2	1,651	1,726	-75
いちき串木野市	7,382	368	18	2	7,770	1	7,771	7,904	-133
南さつま市	8,503	1,347	5	4	9,859	35	9,894	9,840	54
加世田地域	4,125	1,148	1	4	5,278	33	5,311	5,123	188
笠沙支所	629	95	2	0	726	0	726	812	-86
大浦支所	674	61	1	0	736	0	736	746	-10
坊津支所	959	41	1	0	1,001	0	1,001	1,023	-22
金峰支所	2,116	2	0	0	2,118	2	2,120	2,136	-16
志布志市	6,502	23	16	9	6,550	50	6,600	7,196	-596
志布志地域	3,369	5	7	7	3,388	15	3,403	4,032	-629
松山支所	987	10	3	0	1,000	14	1,014	1,060	-46
有明支所	2,146	8	6	2	2,162	21	2,183	2,104	79
奄美市	2,407	11	22	6	2,446	66	2,512	2,877	-365
名瀬地域	761	11	19	4	795	65	860	1,007	-147
笠利分区	1,646	0	3	2	1,651	1	1,652	1,870	-218

(4) 令和5年度地区・分区别員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳						令和5年度 件数	令和4年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
A+B=C	D	C-D							
南九州市	8,017	693	5	5	8,720	3	8,723	9,042	-319
川辺分区	4,218	0	0	1	4,219	0	4,219	4,279	-60
知覧分区	3,253	0	1	4	3,258	3	3,261	3,380	-119
顕娃分区	546	693	4	0	1,243	0	1,243	1,383	-140
伊佐市	6,968	211	4	5	7,188	17	7,205	7,424	-219
大口分区	2,104	87	1	0	2,192	0	2,192	2,192	0
菱刈地域	4,864	124	3	5	4,996	17	5,013	5,232	-219
始良市	8,103	422	33	8	8,566	25	8,591	8,804	-213
始良地域	2,764	325	23	5	3,117	12	3,129	3,378	-249
加治木支所	3,444	95	10	3	3,552	13	3,565	3,526	39
蒲生支所	1,895	2	0	0	1,897	0	1,897	1,900	-3
小計	211,405	4,268	586	303	216,562	1,055	217,617	226,938	-9,321
三島村	27	56	5	0	88	3	91	97	-6
十島村	19	54	11	0	84	4	88	104	-16
小計	46	110	16	0	172	7	179	201	-22
さつま町	6,884	81	3	7	6,975	10	6,985	6,793	192
小計	6,884	81	3	7	6,975	10	6,985	6,793	192
長島町	2,858	0	0	0	2,858	6	2,864	2,893	-29
小計	2,858	0	0	0	2,858	6	2,864	2,893	-29
湧水町	3,089	0	0	0	3,089	0	3,089	3,161	-72
小計	3,089	0	0	0	3,089	0	3,089	3,161	-72
大崎町	2,683	216	1	1	2,901	0	2,901	3,061	-160
小計	2,683	216	1	1	2,901	0	2,901	3,061	-160
東串良町	1,708	8	0	0	1,716	14	1,730	1,761	-31
錦江町	2,621	0	1	1	2,623	0	2,623	2,707	-84
南大隅町	2,552	2	0	0	2,554	0	2,554	2,625	-71
肝付町	4,598	51	3	1	4,653	20	4,673	4,766	-93
小計	11,479	61	4	2	11,546	34	11,580	11,859	-279
中種子町	2,155	0	0	0	2,155	5	2,160	2,283	-123
南種子町	928	1	0	2	931	3	934	1,010	-76
屋久島町	3,954	51	13	4	4,022	2	4,024	4,099	-75
小計	7,037	52	13	6	7,108	10	7,118	7,392	-274
大和村	438	0	0	0	438	1	439	529	-90
宇検村	628	28	2	1	659	3	662	671	-9
瀬戸内町	1,344	20	1	0	1,365	16	1,381	1,802	-421
龍郷町	1,774	4	0	0	1,778	3	1,781	2,174	-393
喜界町	2,205	1	3	0	2,209	12	2,221	2,259	-38
徳之島町	2,248	29	3	7	2,287	50	2,337	2,352	-15
天城町	1,426	0	1	0	1,427	55	1,482	1,601	-119
伊仙町	1,120	30	0	0	1,150	2	1,152	1,185	-33
和泊町	1,572	34	6	0	1,612	2	1,614	1,812	-198
知名町	1,979	1	7	0	1,987	4	1,991	2,032	-41
与論町	1,652	2	0	0	1,654	2	1,656	1,696	-40
小計	16,386	149	23	8	16,566	150	16,716	18,113	-1,397
市地区計	211,405	4,268	586	303	216,562	1,055	217,617	226,938	-9,321
郡地区計	50,462	669	60	24	51,215	217	51,432	53,473	-2,041
地区分区計	261,867	4,937	646	327	267,777	1,272	269,049	280,411	-11,362
支部	60	64	278	84	486	239	725	713	12
合計	261,927	5,001	924	411	268,263	1,511	269,774	281,124	-11,350

(5) 令和5年度赤十字会員増強運動功労表彰

12月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区等を支部長名で表彰した。

ア 令和5年度の会費等実績額が前年度実績の102%以上となった地区・分区

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	出水市地区(高尾野支所)、霧島市地区(霧島分室)	2
鹿児島地区	三島村分区	1
北薩地区	さつま町分区、長島町分区	2
大隅地区	肝付町分区	1
大島地区	宇検村分区、知名町分区	2
合 計		8

イ その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区等

※1,000円以上10,000円未満募集目標件数及び法人会員目標件数をそれぞれ110%以上達成し、かつ会費目標額を125%以上達成

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	出水市地区(野田支所)、南さつま市地区(加世田地域)	2
鹿児島地区	三島村分区	1(1)
合 計		3(1)

※件数欄の()は、ア、イ両方の基準に該当する地区・分区の数

(6) 過去5カ年間の種別会員数の推移

種別	年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)
個人	500円以上 1,000円未満	296,482	△ 12,122	285,400	△ 11,082	275,923	△ 9,477	273,083	△ 2,840	261,927	△ 11,156
	1,000円以上	8,527	△ 715	7,913	△ 614	7,287	△ 626	6,544	△ 743	6,338	△ 206
	小計	305,009	△ 12,837	293,313	△ 11,696	283,210	△ 10,103	279,627	△ 3,583	268,265	△ 11,362
法人		1,367	13	1,539	172	1,497	△ 42	1,497	0	1,511	14
合計		306,376	△ 12,824	294,852	△ 11,524	284,707	△ 10,145	281,124	△ 3,583	269,776	△ 11,348

(7) 令和5年度一般社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	一般社資		個人住民税に関する 指定事業社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	5	16,000,000	0	0	5	16,000,000
2	50万円以上 100万円未満	3	1,500,000	1	500,000	4	2,000,000
3	20万円以上 50万円未満	1	200,000	0	0	1	200,000
4	10万円以上 20万円未満	21	2,232,000	3	300,000	24	2,532,000
5	5万円以上 10万円未満	29	1,450,000	0	0	29	1,450,000
6	3万円以上 5万円未満	37	1,117,688	0	0	37	1,117,688
7	1万円以上 3万円未満	308	3,593,165	5	100,000	313	3,693,165
8	5千円以上 1万円未満	304	1,818,587	0	0	304	1,818,587
9	1千円以上 5千円未満	5,621	6,491,283	0	0	5,621	6,491,283
10	500円以上 1千円未満	261,927	130,938,887	0	0	261,927	130,938,887
11	500円未満	90,021	18,816,170	0	0	90,021	18,816,170
社資合計		358,277	184,157,780	9	900,000	358,286	185,057,780

(8) 令和5年度法人社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	指定事業社資		その他法人社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	2	2,000,000	2	2,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	1	500,000	2	1,000,000
3	20万円以上 50万円未満	3	700,000	8	2,062,758	11	2,762,758
4	10万円以上 20万円未満	6	600,000	32	3,287,255	38	3,887,255
5	5万円以上 10万円未満	0	0	78	4,035,975	78	4,035,975
6	2万円以上 5万円未満	0	0	88	2,312,063	88	2,312,063
7	1万円以上 2万円未満	0	0	525	5,300,546	525	5,300,546
8	5千円以上 1万円未満	0	0	336	1,732,935	336	1,732,935
9	1千円以上 5千円未満	0	0	327	700,150	327	700,150
10	500円以上 1千円未満	0	0	47	33,631	47	33,631
11	500円未満	0	0	57	17,980	57	17,980
合計		10	1,800,000	1,501	21,983,293	1,511	23,783,293

(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿

※敬称略、順不同

◎日本赤十字社の表彰（章）

日本赤十字社感謝状 17件（うち不掲載希望者 1件）

- ・柳田 玉留（鹿児島市）
- ・弓場 秋信（鹿児島市）
- ・永瀬 エイ子（鹿屋市）
- ・米盛 庄一郎（鹿児島市）
- ・松田 剛正（鹿児島市）
- ・米盛 直樹（鹿児島市）
- ・泊 浩平（南九州市）
- ・大福コンサルタント 株式会社（鹿児島市）
- ・株式会社 肥後産業（鹿児島市）
- ・南生建設株式会社（鹿児島市）
- ・白玉醸造株式会社（肝属郡錦江町）
- ・医療法人恵愛会 上村病院（薩摩川内市）
- ・社会福祉法人 鹿児島市社会事業協会（鹿児島市）
- ・有限会社 岩川興業（熊毛郡屋久島町）
- ・社会福祉法人 鹿児島市社会福祉協議会（鹿児島市）
- ・鹿児島県地域赤十字奉仕団（鹿児島市）

金色有功章 12件

- ・湯丸 ミヨ（鹿児島市）
- ・窪田 正樹（肝属郡肝付町）
- ・株式会社 浜畑組（出水郡長島町）
- ・奄美市役所職員一同（奄美市）
- ・株式会社 朋友（大島郡徳之島町）
- ・株式会社 福尚（指宿市）
- ・株式会社 長崎組（出水郡長島町）
- ・有限会社 大黒自動車部品商会（鹿児島市）
- ・公益財団法人 米盛誠心育成会（鹿児島市）
- ・株式会社 渡辺組（曾於市）
- ・株式会社 ヨシカワ（薩摩川内市）
- ・医療法人静和会 ファミリーHP 薩摩（薩摩川内市）

銀色有功章 19件 (うち不掲載希望者 1件)

- ・ 終木 優加子 (鹿児島市)
- ・ 明治安田生命保険相互会社 鹿児島支社 (鹿児島市)
- ・ 有限会社 奄美通商 (奄美市)
- ・ 株式会社 伊東組 (大島郡瀬戸内町)
- ・ 株式会社 平良建設 (奄美市)
- ・ 株式会社 町田建設 (大島郡和泊町)
- ・ 株式会社 南九 (鹿屋市)
- ・ 姫内建設 株式会社 (熊毛郡南種子町)
- ・ めぐみの園 (奄美市)
- ・ 株式会社 小田平建設 (出水市)
- ・ 株式会社 木村ブロック工業 (始良市)
- ・ 有限会社 岩坪土木 (熊毛郡南種子町)
- ・ 株式会社 双葉鉄工 (奄美市)
- ・ 有限会社 コヤマダ建材 (鹿児島市)
- ・ 有限会社 ストア岩下 (霧島市)
- ・ 株式会社 國玉建設 (伊佐市)
- ・ 医療法人秋津会 徳田脳神経外科病院 (鹿屋市)
- ・ 鹿児島県菓子工業組合 (鹿児島市)

10 医 療 事 業

鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床120床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において、適切な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。



これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮、病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むことともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、鹿児島県の要請により令和2年7月7日から令和5年9月30日までの間、新型コロナウイルス感染患者を延べ497人受入れた。

また、県が策定した地域医療構想を踏まえ、令和5年12月より120床全床急性期病床から、急性期80床、地域包括ケア病床40床へ病床機能を変更した。

更に、令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」への対応についても、日赤医療救護班2班及び日赤医療コーディネータスタッフの派遣に加え、県からの要請を受け、DMAT1班を石川県に派遣した。

(1) 一般医療

ア 診療科目 9診療科

[内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科]

イ 診療日 月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ 診療実績

① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和55年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に取り組み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成15年7月に脳神経外科、平成16年3月には麻酔科、平成25年1月には循環器内科を設置し、診療活動の拡充に努めている。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、専用受入病棟を一般病棟として稼働させたことから、入院患者延数は28,306人で、前年度より2,226人多く、病床稼働率4.9%増となった。

〔診療科別入院患者数〕

(単位：人)

区 分	令和5年度				令和4年度				比較(R5-R4)			
	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院 延数	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	
内 科	2,317	181	2,498	6.8	2,468	180	2,648	7.3	Δ151	Δ150	Δ0.5	
リウマチ科	9,162	683	9,845	26.9	8,619	649	9,268	25.4	543	577	1.5	
整形外科	15,311	652	15,963	43.6	13,507	657	14,164	38.8	1,804	1,799	4.8	
合 計	26,790	1,516	28,306	77.3	24,594	1,486	26,080	71.5	2,196	2,226	5.8	
	病床稼働率			64.4%	病床稼働率			59.5%	病床稼働率			4.9%

② 外来患者数

外来患者数は35,223人で、前年度より1,226人少ない3.4%減となった。

〔診療科別外来患者数〕

(単位：人)

区 分	令和5年度	令和4年度	比較(R5-R4)	
			増減(人)	前年比(%)
内 科	5,166	5,531	Δ365	93.4
リウマチ科	16,488	16,249	239	101.5
整形外科	9,909	10,663	Δ754	92.9
呼吸器内科	487	498	Δ11	97.8
脳神経外科	2,047	2,360	Δ313	86.7
循環器内科	1,126	1,148	Δ22	98.1
合 計	35,223	36,449	Δ1,226	96.6

【参考】市町村別入院・外来患者数

(単位：人)

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	13,295	19,690	奄美市	27	4	南種子町	99	33
鹿屋市	323	385	南九州市	2,304	3,176	屋久島町	120	65
枕崎市	858	1,324	伊佐市	57	70	大和村	0	0
阿久根市	56	164	始良市	908	328	宇検村	21	5
出水市	227	208	三島村	43	6	瀬戸内町	0	1
指宿市	2,764	3,863	十島村	94	103	龍郷町	0	10
西之表市	507	123	さつま町	122	137	喜界町	11	14
垂水市	250	187	長島町	37	49	徳之島町	88	10
薩摩川内市	620	751	湧水町	81	31	天城町	0	12
日置市	469	832	大崎町	202	70	伊仙町	0	5
曾於市	14	62	東串良町	0	2	和泊町	7	20
霧島市	475	329	錦江町	0	15	知名町	32	17
いちき串木野市	631	510	南大隅町	31	42	与論町	102	12
南さつま市	1,029	2,040	肝付町	0	70	県 外	265	327
志布志市	452	83	中種子町	169	38	計	26,790	35,223

※入院患者数は在院延数で記載

③ 実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5人	ポリクリ実習	鹿児島大学医学部5年・6年生
リハビリテーション科	5/15~7/7	2人	総合臨床実習Ⅰ	鹿児島大学医学部保健学科 理学療法学専攻4年
	7/17~9/9	2人	長期臨床実習Ⅱ	鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻4年
	3/20~3/24	2人	臨床評価実習	鹿児島大学医学部保健学科
	3/28~3/31	2人		作業療法学専攻3年
看護部	5/22~6/9	8人	成人・老年Ⅱ看護学実習	鹿児島医療技術専門学校4年生
	6/19~7/5	5人	基礎看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校2年生
	7/7	5人	看護を知る実習(見学)	医療法人協会立看護専門学校1年生
	7/3~7/21	5人	老年看護学実習	鳳凰高校専門課程2年生
	8/28~9/15	10人	統合実習	鹿児島医療技術専門学校4年生
	9/19~10/6	5人	老年看護学実習	鳳凰高校専門課程2年生
	10/2~10/20	5人	成人看護学実習	医療法人協会立看護専門学校2年生

(2) 医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としており、災害拠点病院及びDMA T指定病院に指定されている。

災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時には積極的な医療救護班の派遣に努めている。

令和5年度は下記医療救護活動、訓練・研修に救護班等を派遣した。

ア 医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
R5年度分	—	リモート活動のみ	鹿児島県広域医療調整チーム活動	医師1人【9月末で終了】
8月5～7日	3	県立南薩少年自然の家	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター救護	2人(看護師2)台風接近のため中止
8月19日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	6人(医師1、看護師3、主事2)
3月3日	1	鹿児島市	かごしまマラソン2024救護	4人(医師1、看護師3)
1月22～26日	5	石川県七尾市	令和6年能登半島地震救護(第1班)	5人(医師1、看護師3、主事1)
2月1～5日	5	石川県鳳珠郡穴水町	令和6年能登半島地震救護(DMAT)	4人(医師1、看護師2、主事1)
2月10～16日	7	石川県珠洲市	令和6年能登半島地震救護(災害医療コーディネート)	1人(医師1)
2月24～29日	6	石川県七尾市	令和6年能登半島地震救護(第2班)	4人(医師1、看護師3)

イ 災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5月28日	1	始良市	鹿児島県総合防災訓練	7人(医師2、看護師3、主事2)
6月24日	1	鹿児島赤十字病院	救護看護師としてのフォローアップ研修①	受講者7人
7月1日	1	鹿児島赤十字病院	救護看護師としてのフォローアップ研修②	受講者7人
7月8日～9日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネート研修会	受講者1人
8月中	1	日赤県支部	救護員基礎研修(1日目)eラーニング	受講者14人
8月18日	1	鹿児島赤十字病院	こころのケア研修会	指導者2人、受講者16人
9月6日	1	鹿児島市	鹿児島市多数傷病者事故対応訓練	5人(医師1、看護師3、主事1)
8月中	1	日赤県支部	救護員基礎研修(1日目)eラーニング	受講者14人
9月16日	1	日赤県支部	救護員基礎研修・フォローアップ研修	スタッフ7人、受講者14人
10月4日～6日	3	福岡県	日本DMAT隊員養成研修	1人(看護師1)
11月11日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)	2人(医師1、看護師1)
12月11日～12日	2	日赤本社	原子力災害医療アドバイザー会議	2人(医師1、放射線技師1)
12月23日～24日	2	鹿児島市	鹿児島県DMAT隊員養成研修	2人(看護師1、主事1)
1月13日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(避難所運営・避難訓練)	1人(主事1)
1月17日～20日	4	兵庫県	日本DMAT隊員養成研修	1人(看護師1)
1月21日	1	鹿児島市他	鹿児島県国民保護共同訓練(机上)	2人(医師1、主事1)
2月10日	1	日置市他	鹿児島県原子力防災訓練	4人(看護師3、主事1)
3月12日～15日	4	東京都	日本DMAT隊員養成研修	1人(医師1)

(3) へき地医療

ア へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和56年4月1日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成14年7月1日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から4人の派遣医師を受入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成12年10月から、十島村の上四島は平成14年4月からそれぞれ医師1人を派遣、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ等）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療（TV会議）システムを活用し、迅速な対応に努めている。

へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、依頼があった際、へき地診療所等に代診医師の派遣を行うこととしているが、令和5年度は実績なし。



遠隔医療(TV会議)システムによる診察

三島村・十島村医師等派遣

地区	診療所数	医師派遣延日数	看護師派遣延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター急患搬送回数
三島村	4診療所	102.0	4.0	1,204	2回
十島村	7診療所	199.5	15.0	1,709	5回
計	11診療所	301.5	19.0	2,913	7回

※12/29 フェリーとしま機関室火災の影響で1月以降本船が使用できず、代船での派遣調整を行ったが悪天候により実施できなかったため十島村への医師派遣日数は減となっている。

イ へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
	実績なし	

(4) 保健衛生事業

ア 保健衛生事業への協力

① へき地における住民検診・赤十字講習会等

事業名	実施地区	実施人員(人)		対前年比(%)
		令和4年度	令和5年度	
住民健(検)診及び健康診断	三島村(4地区)	438	461	105.3%
	十島村(7地区)			
予防接種	三島村(4地区)	1,134	1,231	108.6%
	十島村(7地区)			
赤十字救急法講習会及びAED講習	三島村(4地区)	104	221	212.5%
	十島村(7地区)			
特定健康診査	三島村(4地区)	219	182	83.1%
	十島村(7地区)			
計		1,895	2,095	110.6%

② 生活習慣病予防健診 (単位：人)

年度 種類	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般健診	422	339	400	361	252
人間ドック	58	66	64	36	30
脳ドック	73	76	87	0	0
計	553	481	551	397	282

(5) 相談援助・地域連携

ア 相談援助事業

内容	件数	内容	件数
受診・受療に関すること	3,516 件	日常生活に関すること	50 件
経済的問題に関すること	23 件	就労・就学に関すること	4 件
制度活用に関すること	217 件	身元保証・権利擁護に関すること	0 件
入院療養生活に関すること	48 件	死後対応に関すること	11 件
退院支援	2,204 件	その他 (IC 同席・合同カンファレンス等)	256 件
在宅療養・介護に関すること	596 件	その他 (チーム医療介入者数)	2,092 件
医療者との関係に関すること	1 件		件
家族関係に関すること	2 件	対応患者数	7,397 件

イ 居宅介護支援事業 [ケアプラン作成]

(単位：件，%)

		ケアプラン作成件数												延件数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
鹿児島市	令和4年度計	24	23	24	25	25	25	26	27	28	27	27	27	308
	令和5年度計	26	24	29	28	27	28	25	27	27	24	22	0	284
鹿児島市 以外	令和4年度計	2	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20	
	令和5年度計	2	2	2	3	2	2	2	2	1	1	0	19	
計	令和4年度計	26	26	26	27	27	27	28	28	29	28	28	28	328
	令和5年度計	28	26	31	31	29	30	27	29	25	25	22	0	303
	対前年度比	107.7	100.0	119.2	114.8	107.4	111.1	94.6	103.6	86.2	89.3	78.6	0.0	92.4

11 血液事業

令和5年5月8日の新型コロナウイルス感染症5類移行後も、血液事業においては10代から40代までの献血者数の減少傾向が全国的に続いており、鹿児島県では、移動採血における一稼働あたりの献血者数減少が続いている。

血液事業は国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としている。同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。

また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っている。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成24年4月より従来の各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から全国を7ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。これまで九州各県で行っていた献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行うこととなった。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの約半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となる。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては減少傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大している。鹿児島県では令和5年度の目標献血者数62,455人に対して、61,934人（対前年度比96.8%）の方々に献血のご協力をいただいた。一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL献血由来が324本、400mL献血由来が58,225本、成分献血由来が12,792本の合計71,341本、200mL換算すると233,057本（対前年度比99.1%）となった。

鹿児島県赤十字血液センターでは、持続可能な血液事業をめざして、献血予約制推進のもとに「献血会場固定化による移動採血の効率化」や「複数回献血の推進」を図るとともに、更なる「若年層への献血推進」を行っていく。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、新たな血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めることとしている。

(1) 供給・採血実績

ア センター供給本数

(単位:本)

区 分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合 計	200mL換算	対前年度比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	217	48,622		48,839	97,461	98.1%
血漿製剤	107	9,603	1,852	11,562	26,721	97.6%
血小板製剤	0	0	10,940	10,940	108,875	100.3%
合 計	324	58,225	12,792	71,341	233,057	99.1%
構 成 比	0.5%	81.6%	17.9%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及びび川内出張所の3施設から供給された合計本数

イ 献血者数

(単位:人)

区 分	200mL	400mL	成 分	合 計
血液センター	58	6,225	8,614	14,897
献血ルーム	189	5,532	7,236	12,957
献血バス	97	33,983	0	34,080
合 計	344	45,740	15,850	61,934
構 成 比	0.5%	73.9%	25.6%	100.0%
対 前 年 度 比	142.1%	97.8%	93.5%	96.8%

(2) 供給体制

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、确实且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し定時配送率80%以上の目標を達成できた。

医療機関からの血液製剤の発注については、令和2年11月から新WEB発注システムの運用が開始され、医療機関のWEB発注システム登録の強化を実施してきた。

令和6年4月からは、原則WEB発注となるために、より一層協力を求めている。

(3) 医薬情報活動

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、医薬品（輸血用血液製剤）販売後の安全管理業務を迅速に行った。

(4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力

第13回令和5年度鹿児島県合同輸血療法懇話会をオンラインで開催した。鹿児島県赤十字血液センターは、事務局として鹿児島県合同輸血療法委員会の世話人会や講師の先生方への働きかけに加え、県内の医療機関へ開催の案内を発送するなど協力した。

(5) 献 血 推 進

血液事業について、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、血液センターは採血事業者として献血の受入れの推進を行わなければならないと記されている。一方、国に対しては、血液製剤の安全性の向上や安定的な確保が求められており、地方公共団体に対しては、献血についての住民理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう必要な措置を講じなくてはならないと記されている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、400mL献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎6月1日 「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」(WEB開催)

血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。

◎7月1日 「愛の血液助け合い運動月間」

～31日

長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年7月1日から1か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。

当県では、7月2日(土)に献血推進街頭キャンペーンを予定していたが、前日に大雨警報が発令されたことにより中止した。

◎10月20日 「ライオンズクラブ献血推進セミナー」

献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。

セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎12月15日 「学生クリスマス献血キャンペーン2023」

～24日

全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内5か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志学館大学・イオンモール鹿児島・献血ルーム天文館）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計222名（献血ルーム・天文館分除く）の協力が得られた。



◎1月1日 「はたちの献血キャンペーン」

～2月29日

成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオCM、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む1月から2月の2カ月間全国的に展開している。

当県では、1月7日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

◎1月7日 「MBCラジオ献血ウィーク」

～18日

年始の献血者確保を目的に、1月の12日間をキャンペーン期間とし、期間中、ラジオでの献血の呼びかけを行った。

2,109名の協力が得られた。

◎3月20日 「μFM春休み献血キャンペーン」

～31日

献血者確保が難しくなる年度末に、血液センター職員や学生献血推進協議会メンバーがμFMに出演し、献血を呼びかけるキャンペーンを実施し、期間中、2,045名の協力が得られた。

(6) 献血予約の推進と協力要請

献血の待ち時間や混雑緩和のため、「献血予約」を推進し、また、献血者減少時など必要に応じて献血への協力依頼を行った。

献血WEB会員サービス「ラブラッド」では、献血の予約や依頼要請をはじめ、検査結果の閲覧、様々な献血者、受血者等の声を伝えるサービスを提供している。

複数回献血クラブ(ラブラッド)登録者数 (人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
21,161	26,761	30,594

(7) 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

(人)

登録者受付数(新規)	335
登録取消者数	264
累計登録者数	4,689
(前年度末累計登録者数)	4,618

(8) 献血功労者表彰

献血功労者として、次の団体が受賞された。

[厚生労働大臣表彰状](2団体)

- ・公益社団法人 新大隅青年会議所
- ・鹿児島県立鹿屋高等技術専門校

[厚生労働大臣感謝状](6団体)

- ・学校法人原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校
- ・大口建設業協同組合青年部会
- ・九州電力株式会社山川発電所
- ・鹿児島きもつき農業協同組合
- ・医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院
- ・始良市消防本部

12 社会福祉事業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（80床）と短期入所生活介護事業（2床）の事業を行っている。

令和5年度においても、入居希望者の申込みを随時受け、外部委員を含む入居検討委員会を年4回開催し、円滑な入居と経営の安定に努めた。また、介護保険における「日常生活継続支援加算」、「夜勤職員配置加算」、「看護体制加算」、「口腔機能維持管理加算」等の加算項目の要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。

さらに、懸案となっている介護職員の処遇についても、「介護職員処遇改善加算」や「介護職員等特定処遇改善加算」、「介護職員等ベースアップ等支援加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなく、質の高いサービス提供の維持を行うことができた。



なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は419,083千円となり、令和4年度（前年度）決算額424,727千円と比較すると、5,643千円の減収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設であっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。また、新型コロナウイルス感染症については、隣接する赤十字病院と連携して適切に管理するとともに、希望する入居者や職員へのコロナワクチン接種（6回目、7回目）を令和5年8月、令和6年3月にそれぞれ実施した。

(1) 指定介護老人福祉施設事業

令和5年度の施設介護料収入は、職員の産育休取得に伴う加算の未算定等により、前年度より1,043千円減の311,204千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	入居率 (%)
令和5年度	80	29,280	28,178	96.2
令和4年度	80	29,200	28,169	96.5

※総日数=365日(1年間)×定員数。令和5年度は閏年のため366日(1年間)

<入退居者の状況>

(単位:人)

区分	入居	退所	死亡
令和5年度	25	1	25
令和4年度	21	1	17

<入院の状況>

(延べ日数)

	4月 ~6月	7月 ~9月	10月 ~12月	1月 ~3月	計
令和5年度	217	313	188	212	930
令和4年度	339	240	192	152	923

<要介護度の状況>

(令和6年4月1日時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和5年度	0	0	8	28	44	80	4.46
令和4年度	0	0	7	31	42	80	4.44

(2) 短期入所生活介護事業

令和5年度の居宅介護料収入は、各種感染症対策に伴う利用率の低下などの理由から前年度より704千円減の5,564千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	利用率 (%)
令和5年度	2	732	619	84.6
令和4年度	2	730	669	91.6

※総日数=365日(1年間)×定員数(2名)。令和5年度は閏年のため366日(1年間)

<利用者数・要介護度の状況>

(令和6年4月1日時点)

要介護度	要支援 1	要支援 2	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和5年度	1	0	0	0	4	2	5	12	4.09
令和4年度	0	0	0	0	3	5	2	10	3.90

(3) 入居者へ質の高いサービスの提供

①資機材の整備・更新

- ・ICT 機器の整備として、県地域医療介護総合確保基金事業の補助金をもとに「介護ロボットベッド」を4台追加整備した。
- ・入居者及び職員の負担軽減を図るため、スライディングボードやスライディングシート等の資機材や、吸引器の追加整備を行った。

②園内行事または各種イベント等

- ・園内行事として敬老祝賀会を4年ぶりに開催するとともに、内閣総理大臣や鹿児島市長からのお祝い状の授与を行った。
- ・鹿児島市老人福祉施設協議会と連携し、鹿児島県喫茶飲食生活衛生同業組合主催の「極上のコーヒー施設訪問」の受入れを行った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で大規模なイベント実施が困難な中、少しでも入居者の情緒の安定を図るため、少人数で対応可能な各ユニット単位での催し（芋ほりやたこ焼きづくり等）を強化・企画・実施した。

③入居者の健康管理

- ・鹿児島赤十字病院と提携し、週1回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
- ・協力歯科医療機関の歯科医師から技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。

④各種委員会又は会議の開催

- ・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」及び「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を定期的で開催し、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。

⑤各種研修への参加

職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図ることを目的として、以下のとおり園内研修を実施または外部研修へ参加した。

- ・外部で開催される各種研修会に年間20回、延べ21名の職員が参加した。
- ・職場内研修は毎月開催し、延べ308名の職員が参加した。
- ・職場内研修を充実させるため「身体拘束廃止研修会」は外部から講師を招いて行った。



身体拘束廃止研修会



錦江湾公園へ花見



芋ほり



極上コーヒー施設訪問

(4) 入居者の安全対策・環境整備

- ・防災安全委員会を年4回開催した他、防火避難訓練を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。
- ・自然災害及び新型コロナウイルス等感染症発生時における業務継続計画（BCP）を策定するとともに、大雨災害時の災害対応机上訓練を実施した。
- ・全国老人福祉施設協議会が運営している「災害派遣福祉チーム」（DWAT）へ当園介護福祉士3名の登録を行った。



防火避難訓練



BCP 災害対応机上訓練

(5) ボランティアの受入れと地域との連携

- ・コロナ禍で受入れができていなかったボランティア団体について感染対策を行った上で、ボランティアの受入れを一部再開し地域住民との交流を行った。また、「平川まちづくり協議会」に参加し、地域との連携や交流拡大に努めた。
- ・コロナ禍で実施できていなかった地域福祉活動推進会議を5年ぶりに再開し、地域ニーズの再確認のために情報収集を行った。

(6) 実習生の受入れ

- ・コロナ禍のため見送っていた介護福祉士等を目指す学生（大学生、専門学校生）の介護実習等の研修受入れについては、各種感染症の発生状況を注視しつつ再開した。
- ・地域の小中学生の職場体験学習等を受入れ、若年層への福祉の啓発に努めた。

(7) 地域貢献活動について

- ・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、地域の皆様からの要請に基づき、救急法短期講習や健康生活支援講習短期講習等を行った。
- ・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受入れを行った。



救急法短期講習



台風避難者の受入れ

(8) 広報活動について

- ・ホームページを随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。
- ・「さざなみ編集委員会」を「広報委員会」に名称変更し、広報全般に関する課題に対応できるよう体制変更した。

(9) その他

- ・錦江園家族会からティルト車椅子1台を寄贈していただいた。
- ・職場満足度調査を実施し、全職員からのご意見に基づいた職場環境改善に取り組んだ。
- ・業務の効率化、スリム化を推進するため、これまでより一層、改善活動を促進した。

(参考)

令和5年度における入居者の状況(令和6年4月1日現在)

(ア) 出身市町村別、年齢別の状況

(単位:人)

出身地	年 齢 性別	55歳	65歳	70歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳	計	合計				
		～64歳	～69歳	～79歳	～84歳	～89歳	～94歳	～99歳	以上						
鹿 児 島 市	男		1	4	3	3	1	1		13	64				
	女	1		5	4	8	20	11	2	51					
南 九 州 市	男			1						1	3				
	女					1	1			2					
指 宿 市	女				1					1	1				
南 さ つ ま 市	女			1		1				2	2				
枕 崎 市	女				1					1	1				
垂 水 市	女							1		1	1				
薩 摩 川 内 市	女						1			1	1				
日 置 市	女							1		1	1				
いちき串木野市	女					1				1	1				
霧 島 市	女								1	1	1				
志 布 志 市	女			1						1	1				
伊 佐 市	女							1		1	1				
十 島 村	女							1		1	1				
長 島 町	女		1							1	1				
計	男	0	1	5	3	3	1	1	0	14	80				
	女	1	1	7	6	11	22	15	3	66					
平均年齢		87歳 11月			最高年齢			102歳 7月			最少年齢			55歳 8月	
		男 81歳 3月			男			95歳 4月			男			69歳 10月	
		女 89歳 4月			女			102歳 7月			女			55歳 8月	

(イ) 在園期間

(単位:人)

性別	在園期間	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	合計
		未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満	未満		
男		1	2	3	1	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	14
女		21	12	9	2	6	8	2	1	0	0	2	0	1	0	2	66
計		22	14	12	3	8	10	4	1	0	0	3	0	1	0	2	80

(ウ) 日常生活能力

(単位：人)

区分	歩 行				食 事			入 浴			着 衣			排 泄						
	自 力 歩 行	杖 等 の 歩 行 補 助 器 使 用	車 い す 使 用	歩 行 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	昼 間		夜 間		お む つ 使 用	お む つ 使 用	
														便所		お む つ 使 用	便所			
														自 分 で 可 能	介 助		自 分 で 可 能			介 助
人 数	3	8	68	1	40	11	29	1	13	66	7	18	55	15	23	42	10	16	54	

(エ) 疾病の状況

(単位：人)

病 名	人 員	病 名	人 員
脳 卒 中 後 遺 症	19	糖 尿 病	2
アルツハイマー型認知症	17	精 神 遅 滞	1
脳 血 管 性 認 知 症	10	腎 不 全	1
心 疾 患	9	骨 粗 鬆 症	1
関 節 リ ウ マ チ	16	気 管 支 喘 息	1
パ ー キ ン ソ ン 病	4	成 人 ス チ ル 病	1

(オ) 死亡者の死因

(単位：人)

区分 \ 疾病名	老 衰	肺 炎	心不全	その他	計
施 設	11	2	0	1	14
病 院	3	3	2	3	11
計	14	5	2	4	25

13 評議員会及び監査等

(1) 支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

- ・第1回支部評議員会（6月13日(火)：マリnpレスかごしま）
 - 第1号議案 令和4年度主要事業の実施状況報告及び令和4年度歳入歳出決算について
 - 第2号議案 支部長の選出について
 - 第3号議案 代議員の選出について
- ・第2回支部評議員会（2月6日(火)：マリnpレスかごしま）
 - 第1号議案 令和6年度事業計画(案)及び令和6年度歳入歳出予算(案)について
 - 第2号議案 副支部長の選出について
 - 第3号議案 監査委員の選出について

(2) 業務監査

令和5年6月2日(金)に、支部監査委員3人により支部各施設の令和4年度の業務及び歳入歳出決算に係る監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

※ 監査対象の会計

- ・日本赤十字社鹿児島県支部 一般会計
- ・鹿児島赤十字病院医療施設 特別会計
- ・特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設 特別会計

(3) 地区・分区関係各種会議等

会員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

ア 地区・分区・支所等事務長及び担当者研修会

- ・開催日 4月18日(火)
- ・場所 マリnpレスかごしま
- ・参加 82人
- ・研修内容 赤十字について
赤十字事務取扱要領について
日本赤十字社の活動報告
事例発表(社資募集活動、青少年赤十字活動について)

イ 社業振興幹事会

- ・開催日 12月14日(木)～15日(金)
- ・場所 日本赤十字社宮崎県支部国富町分区 他
- ・出席 17人
- ・議題 鹿児島県支部における社資募集の現状について
鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取組みについて
赤十字大会等について他

ウ 副地区長及び担当者会議（郡地区）

- ・開催日 1月26日（金）
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 11人
- ・議題 令和5年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について
令和6年度事業計画について
令和5年度会員数・社資額の状況について
令和6年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
地区説明会について
令和6年全国赤十字大会について
令和6年度九州八県赤十字大会について

エ 市地区事務長会議

- ・開催日 2月22日（木）
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 15人（市地区）
- ・議題 令和5年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について
令和6年度事業計画について
令和5年度会員数・社資額の状況について
令和6年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
地区説明会について
令和6年全国赤十字大会について
令和6年度九州八県赤十字大会について

オ 郡地区説明会

- ・開催日 2月14日（水）～29日（木）（6地区4会場で開催）
- ・出席 44人（郡地区・地区・分区担当者等）
- ・議題 令和5年度（12月末時点）主要事業実施状況概要について
令和6年度事業計画について
令和5年度会員数・社資額の状況について
令和6年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
地区説明会について
令和6年全国赤十字大会について
令和6年度九州八県赤十字大会について

14 決算状況

(1) 令和5年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島支部

歳		入				出					
科目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%		円	円	円	%	%
支部収入	261,036,000	268,877,431	7,841,431	103.0	100.0	支部費	261,036,000	220,307,195	40,728,805	84.4	100.0
社資収入	204,558,000	209,398,168	4,840,168	102.4	77.9	災害救護事業費	28,265,000	21,636,789	6,628,211	76.5	9.8
委託金等収入	0	0	0	-	0.0	社会活動費	40,968,000	26,184,221	14,783,779	63.9	11.9
補助金及び交付金 収入	5,438,000	4,879,372	△ 558,628	89.7	1.8	国際活動費	1,558,000	1,557,095	905	-	0.7
災害義援金預り金 収入	0	0	0	-	0.0	指定事業地方振興 費	1,458,000	1,457,095	905	99.9	0.7
繰入金収入	5,808,000	1,695,368	△ 4,112,632	29.2	0.6	地区区分交付金支 出	38,480,000	38,053,150	426,850	98.9	17.3
貸付金償還金収 入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.9	社業振興費	35,675,000	25,315,305	10,359,695	71.0	11.5
資産収入	0	0	0	-	0.0	基盤整備交付金・ 補助金支出	0	0	0	-	0.0
雑収入	2,893,000	3,647,160	754,160	126.1	1.3	積立金支出	19,057,000	18,772,524	284,476	98.5	8.5
前年度繰越金	37,339,000	44,257,363	6,918,363	118.5	16.5	総務管理費	55,667,000	52,166,320	3,500,680	93.7	23.7
						資産取得及び資産 管理費	7,413,000	4,243,536	3,169,464	57.2	1.9
						本社送納金	30,995,000	30,921,160	73,840	99.8	14.0
						予備費	1,500,000	0	1,500,000	0.0	0.0
合 計	261,036,000	268,877,431	7,841,431	103.0	100.0	合 計	261,036,000	220,307,195	40,728,805	84.4	100.0

歳入歳出差引額 48,570,236 円

(2) 令和5年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

鹿児島赤十字病院

[収益的收入]				[収益の支出]							
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科 目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%		円	円	円	%	%
1 医業収益	3,615,566,000	3,315,812,912	△ 299,753,088	91.7	93.2	1 医業費用	3,750,424,000	3,747,668,064	2,755,936	99.9	98.8
2 医業外収益	60,529,000	201,576,471	141,047,471	333.0	5.7	2 医業外費用	13,800,000	13,795,659	4,341	100.0	0.4
3 医療社会事業収益	52,148,000	41,353,465	△ 10,794,535	79.3	1.1	3 医療奉仕費用	52,148,000	30,783,832	21,364,168	59.0	0.8
5 特別利益	0	1,049	1,049	0.0	0.0	5 特別損失	485,000	483,581	1,419	99.7	0.0
						6 法人税等	760,000	-595,314	1,355,314	-78.3	0.0
						7 予備費	0	0	0	0.0	0.0
収益的收入 合計	3,728,243,000	3,558,743,897	△ 169,499,103	95.5	100.0	収益の支出 合計	3,817,617,000	3,792,135,822	25,481,178	99.3	100.0

収益的收入支出差引額 △ 233,391,925 円

[資本的收入]				[資本の支出]				
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増 減(A)-(B)-(C)	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
	円	円	円	円	円	円	円	円
1 固定負債	136,428,000	136,428,000		0	221,728,000	217,591,700		4,136,300
3 その他資本収入	177,922,000	173,769,391		4,152,609	92,622,000	92,605,691		16,309
資本的收入 合計	314,350,000	310,197,391	0	4,152,609	314,350,000	310,197,391	0	4,152,609

資本的收入支出差引額 0 円

(3) 令和5年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1 事業活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科	目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)-(D)	執行率 (D/C)	全体比
		円	円	円	%	%	1 施設費		円	円	円	%	%
1	施設収入												
1	介護保険事業収入	419,909,000	419,083,310	△ 825,690	99.8	99.9	1	人件費支出	303,696,000	297,562,456	6,133,544	98.0	79.2
10	経常経費寄付金収入	0	0	0	0.0	0.0	2	事業費支出	54,611,000	52,407,712	2,203,288	96.0	13.9
11	受取利息配当金収入	0	4	4	0.0	0.0	3	事務費支出	24,045,000	24,044,527	473	100.0	6.4
12	その他の収入	205,000	229,427	24,427	111.9	0.1	6	利用者負担軽減額	827,000	826,468	532	99.9	0.2
							7	支払利息支出	939,000	911,437	27,563	97.1	0.2
							8	その他の支出	100,000	0	100,000	0.0	0.0
	事業活動収入計	420,114,000	419,312,741	△ 801,259		100.0		事業活動支出計	384,218,000	375,752,600	8,465,400	97.8	100.0
								事業活動資金収支差額	43,896,000				

2 施設整備等による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円	10	設備資金借入金元金償還支出	円	円	円	円
14	施設整備等補助金収入	1,196,000	1,196,000	0	0	11	固定資産取得支出	14,808,000	14,808,000	0	0
15	施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	12	固定資産除却・廃棄支出	2,396,000	2,100,444	0	295,556
	施設整備等収入計	1,196,000	1,196,000	0	0	13	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,140,000	1,774,383	0	365,617
							施設整備等支出計	19,344,000	18,682,827	0	661,173
							施設整備等資金収支差額	△ 17,486,827			

3 その他の活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円	18	積立資産支出	円	円	円	円
24	他会計長期借入金収入	0	0	0	0	21	他会計長期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	0
28	他会計繰入金収入	0	15,357,150	0	15,357,150	26	その他の活動による支出	9,469,000	9,468,770	0	230
31	その他の活動による収入	0	0	0	0		財務活動支出計	14,469,000	14,468,770	0	230
	財務活動収入計	0	15,357,150	0	15,357,150		その他の活動資金収支差額	888,380			

4 当期末支払資金残高

予算現額に比し 増減(B)-(A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)
35,896,000	43,560,141	7,664,141
△ 18,148,000	△ 17,486,827	661,173
△ 14,469,000	888,380	15,357,380
2,369,000	26,961,694	26,051,694
910,000	177,927,640	21,297,640
156,630,000	204,889,334	47,349,334

5 収入支出の合計

予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)
577,940,000	613,793,531	0	35,853,531
420,400,000	408,904,197	0	11,495,803

収入支出差引額 204,889,334 円

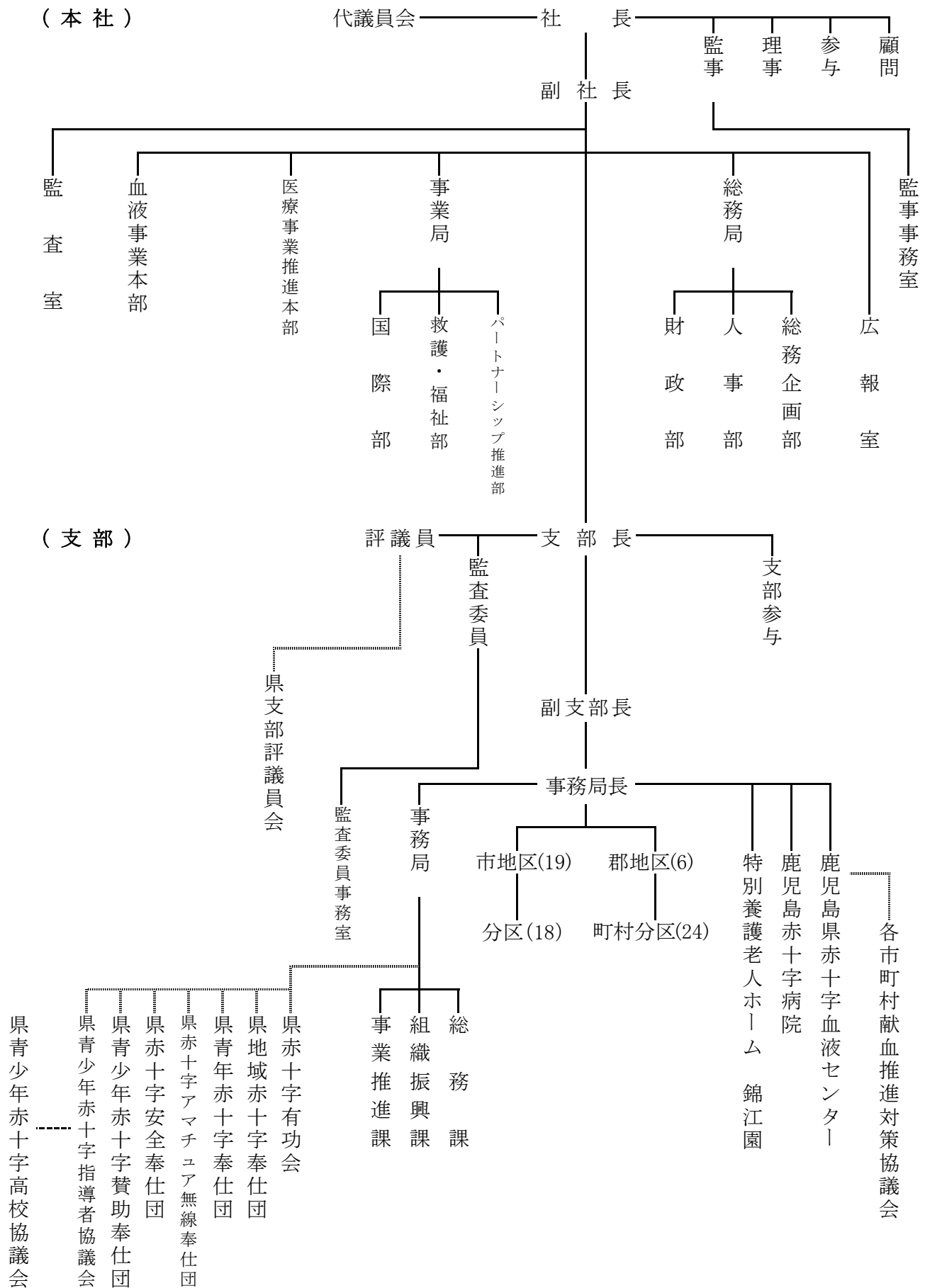


參考資料

本社及び支部組織図等

組 織 図

令和6年4月1日 現在



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主 要 役 員 名

令和6年4月1日現在

役 職 名	氏 名	現 職	任 期
支 部 長	塩 田 康 一	県 知 事	R5. 7.28～R8. 7.27
副 支 部 長	大 塚 大 輔	県 副 知 事	R5. 7.10～R8. 7. 9
〃	房 村 正 博	県 保 健 福 祉 部 長	R4. 4. 1～R7. 3.31
本 社 理 事	森 博 幸	前 鹿 児 島 市 長	R4. 4. 1～R7. 3.31
支 部 選 出 本 社 代 議 員	森 博 幸	前 鹿 児 島 市 長	R4. 2.14～R7. 2.13
〃	本 坊 輝 雄	南 さ つ ま 市 長	〃
〃	今 別 府 哲 矢	前 薩 摩 川 内 市 社 会 福 祉 協 議 会 会 長	〃
〃	川 畑 俊 彦	南 生 建 設 ㈱ 名 誉 会 長	〃
〃	大 迫 茂 子	赤 十 字 奉 仕 団 県 支 部 委 員 会 委 員 長	R5. 6.13～R7. 2.13
支 部 監 査 委 員	上 川 路 長 生	公 認 会 計 士 ・ 税 理 士	R3. 7. 1～R6. 6.30
〃	大 柳 俊 一	県 町 村 会 事 務 局 長	R6. 4. 1～R9. 3.31
〃	西 井 上 誠	前 県 社 会 福 祉 協 議 会 常 務 理 事 兼 事 務 局 長	R6. 2. 9～R9. 2. 8

支 部 参 与

氏 名	公 職 名	就 任 年 月 日
地 頭 所 恵	県 教 育 長	令 和 5 年 4 月 1 日
竹 村 直 子	県 保 健 福 祉 部 長 次	令 和 6 年 4 月 1 日
松 田 典 久	元 支 部 事 務 局 長	令 和 2 年 4 月 1 日

日本赤十字社鹿児島県支部 評議員 名簿

■評議員

任期(令和4年2月14日～令和7年2月13日)

令和6年4月1日現在

地区名	氏名	職業	地区名等	氏名	職業	
鹿児島市地区	下鶴 隆央	鹿児島市長	霧島市地区	中重 真一	霧島市長	
〃	椎木 明彦	鹿児島市社会事業協会 理事長	〃	福永 洵	霧島市社会福祉協議会 会長	
〃	中間 隆志	日赤鹿児島市地区協賛委員会 会長	いちき串木野市地区	中屋 謙治	いちき串木野市長	
〃	坪内 元	日赤鹿児島市地区協賛委員会 副会長	南さつま市地区	本坊 輝雄	南さつま市長	
〃	三原美智子	日赤鹿児島市地区協賛委員会 副会長	志布志市地区	下平 晴行	志布志市長	
〃	赤星 貴子	鹿児島中央赤十字奉仕団 委員長	奄美市地区	安田 壮平	奄美市長	
〃	丸田智恵子	鹿児島市谷山赤十字奉仕団 委員長	南九州市地区	塗木 弘幸	南九州市長	
鹿屋市地区	中西 茂	鹿屋市長	伊佐市地区	橋本 欣也	伊佐市長	
〃	宮下 昭廣	鹿屋市社会福祉協議会 会長	始良市地区	湯元 敏浩	始良市長	
枕崎市地区	前田 祝成	枕崎市長	郡地区	鹿児島・始良・北薩	大山 辰夫	三島村 長
阿久根市地区	西平 良将	阿久根市長		大隅	永野 和行	肝付町 長
出水市地区	椎木 伸一	出水市長		熊毛	荒木 耕治	屋久島町 長
指宿市地区	打越 明司	指宿市長		大島	高岡 秀規	徳之島町 長
西之表市地区	八板 俊輔	西之表市長	支部長選出	森 博幸	前鹿児島市長	
垂水市地区	尾脇 雅弥	垂水市長	〃	池田 琢哉	県医師会 会長	
薩摩川内市地区	田中 良二	薩摩川内市長	〃	松前 邦昭	県赤十字有功会 会長	
〃	上屋 和夫	薩摩川内市社会福祉協議会 会長	〃	川畑 俊彦	南生建設(株) 名誉会長	
日置市地区	永山 由高	日置市長	〃	佐潟 隆一	(株)南日本新聞社 社長	
曾於市地区	五位塚 剛	曾於市長	〃	中野 寿康	(株)南日本放送社 社長	
			〃	大迫 茂子	赤十字奉仕団県支部委員会 委員長	
			〃	日高 京美	県青少年赤十字指導者協議会 会長	

評議員 計 40人

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締結国

196カ国

世界の赤十字社・赤新月社等

(発行日(令和5年7月3日)現在)

191社

1. 沿革

明治10年(1877) 5月1日 博愛社設立
 明治20年(1887) 5月20日 日本赤十字社に改称
 昭和27年(1952) 8月14日 日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁

名誉総裁 皇后陛下
 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
 常陸宮殿下・同妃華子殿下
 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下
 高円宮妃久子殿下

3. 会員

(令和5年3月31日現在) 個人 20.1万人
 法人 8.1万法人

4. 評議員

2,004人

5. 代議員

223人

6. 役員

社長 清家 篤(常勤)
 副社長 鈴木 俊彦(常勤) 十倉 雅和(非常勤)
 理事 61人(常勤5人、非常勤56人)
 監事 3人(常勤1人、非常勤2人)

7. 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)

幼稚園・保育所等	1,780校	147,304人
小学校	7,099校	1,947,234人
中学校	3,459校	973,227人
高等学校	1,753校	370,874人
特別支援学校	210校	20,279人
その他	137校	35,237人
計	14,438校	3,494,155人
指導者	288,355人	

8. 赤十字ボランティア(令和5年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団	2,088団	806,027人
青年赤十字奉仕団	150団	5,111人
特殊赤十字奉仕団	622団	28,566人
個人ボランティア等	-	11,130人
計	2,860団	850,834人

9. 救急法等の講習

	資格登録者数(令和5年3月31日現在)		受講者数 (令和4年度)
	指導者	救急員等	
救急法基礎講習	10,765人	273,336人	33,611人
救急法	6,827人	148,147人	262,265人
水上安全法	1,465人	11,361人	30,167人
雪上安全法	203人	1,220人	367人
幼児安全法	2,270人	21,988人	46,386人
健康生活支援講習	1,709人	15,349人	30,059人
計	23,239人	471,401人	402,855人

10. 看護師等の教育

施設数	一学年養成定員	
大学(大学院併設)	6	看護師 16校 1,145人
短期大学	1	助産師 6校 88人
看護専門学校	10	保健師 6校 149人
助産師学校	1	幹部看護師 1校 120人
幹部看護師研修センター	1	介護福祉士 1校 30人
計	19	

11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣(令和4年度)	16カ国	のべ61人
国際赤十字・赤新月社連盟出向	2人(スイス、マレーシア)	
国際活動費(令和4年度)		78億円

12. 国内災害救護

救護員数	8,077人(常備救護班要員を含む)	
常備救護班	487班	5,231人
無線局	(令和5年3月31日現在) 3,130局	
救護車両	2,206台	
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	99人	
災害における救護員出動数(令和4年度)	244人	
救援物資配分率(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和4年度)	11,314個	
令和4年度受付義援金額(令和5年3月31日現在)	6億2,424万3,358円	

13. 医療事業

施設数			
病院	診療所	5	
	老人保健施設	4	
	介護医療院	5	
病床総数	34,777床(令和5年3月31日現在)		
総患者数(令和4年度)			1日平均
入院	951万人	2.6万人	
外来	1,600万人	6.5万人	

14. 血液事業

施設数		
地域血液センター	47	ブロック血液センター 7
附属施設	169	附属施設(製造所) 4
(献血ルーム116を含む)		分室 1
献血者数(令和4年度)	供給本数(令和4年度)	
成分献血	158万人	輸血用製剤 1,724万本
400mL献血	330万人	車両台数(令和5年3月31日現在)
200mL献血	12万人	献血運搬車 769台
計	501万人	移動採血車 282台

15. 社会福祉事業

児童福祉施設数(定員)		
乳児院	8(291)	医療型障害児入所施設 3(286)
保育所	3(348)	
児童養護施設	1(40)	
老人福祉施設数(定員)		
特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)	
障害者福祉施設数(定員)	複合型施設	1(定員)
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム (110)
視覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設 (100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム (18)
		障害者支援施設 (10)

16. 職員数(施設数)

職員数	
本社(1)	538人
支部(47)	721人
医療事業(116)	59,091人
血液事業(228)	5,819人
社会福祉事業(28)	1,234人
計	67,403人

17. 会計(令和5年度当初予算)

一般会計	本社	147億8千万円
	支部	211億8千万円
医療施設特別会計		1兆1,940億7千万円
血液事業特別会計		1,630億2千万円
社会福祉施設特別会計		159億4千万円

(特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在)

支部の現勢

令和6年4月1日 現在

役員

支部長	塩田 康一	
副支部長	大塚 大輔	
	房村 正博	
本社理事	森 博幸	
本社代議員		5 人
監査委員		3 人
評議員		40 人

赤十字奉仕団委員長及び団員数

赤十字奉仕団県支部委員会委員長	大迫 茂子	
・地域赤十字奉仕団(57団)		
団員数		11,296 人
・赤十字安全奉仕団委員長	岩屋 幹夫	
団員数		134 人
・青年赤十字奉仕団委員長	堀 段 怜奈	
団員数		10 人
・赤十字アマチュア無線奉仕団委員長	松木 孝生	
団員数		324 人
・赤十字看護奉仕団委員長	(休 止 中)	
団員数		0 人
・青少年赤十字賛助奉仕団委員長	針原 正弘	
団員数		49 人

赤十字有功会

会長	松前邦昭	会員数	298 人(社)
----	------	-----	----------

青少年赤十字指導者協議会

会長	日高京美
----	------

青少年赤十字加盟校・園

学校・保育園幼稚園	449 校園
青少年赤十字メンバー	82,930 人

会員(協力会員等除く)

個人	会員	1,026 人
法人	会員	956 社
合	計	1,982 人(社)

講習指導員

救急法指導員	100 人
水上安全法指導員	38 人
幼児安全法指導員	36 人
健康生活支援講習指導員	23 人

医療事業

病院	1 病院
診療科目	9 科
内科・リウマチ科・循環器内科・	
呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・	
麻酔科・放射線科・リハビリテーション科	
救急車等の配置	
救急車	1 台
災害救援車	1 台
一般病床	120 床
医師	21 人
医療技師	39 人
看護師	100 人

血液事業

血液センター・献血ルーム天文館・	
鹿屋出張所・川内出張所	
移動採血車	5 台
検診車	4 台
献血運搬車	21 台
(出張所を含む)	
医師	7 人
医療技師	3 人
看護師	34 人

社会福祉事業

特別養護老人ホーム	
入所定員数	80 人
短期入所生活介護(ショートステイ)	2 床
介護職員・看護師	51 人

救護・援護事業

常備救護班	8 班
常備要員	48 人
無線基地局・移動局	78 局
災害救援車(地区分区配備含む)	64 台
エアーテント	3 基
フレーム式拡張テント	3 張
テント(地区分区配備含む)	143 張
災害物資保管庫等	81 か所
炊出し用釜セット	73 か所

○ 支 部 の 沿 革

明治 10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年 9月	日本赤十字社鹿児島県委員部を県庁内に設置
29(1896)年 7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年 12月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年 11月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年 5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年 7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年 9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年 5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年 8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年 1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年 6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年 8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年 4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年 1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年 1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年 4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年 6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年 4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年 12月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年 11月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年 3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年 5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年 8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年 9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年 12月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年 4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年 4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年 9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年 2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年 3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年 4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年 8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年 5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年 3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了

60(1985)年	3月	錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年	8月	鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可
61(1986)年	2月	血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年	4月	血液センター400mL献血及び成分献血開始
61(1986)年	9月	血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成元(1989)年	2月	鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年	3月	ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年	6月	血液センター業務をシステム化
2(1990)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年	11月	鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年	4月	血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年	10月	鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年	10月	鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年	3月	『日赤鹿児島百年史』刊行
5(1993)年	8月	8・6豪雨災害で救護班8個班を派遣
6(1994)年	4月	鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年	1月	阪神・淡路大震災で救護班2個班、赤十字防災ボランティア等を派遣(発災から同年3月までの間)
8(1996)年	5月	鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年	10月	鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年	3月	鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年	2月	血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
10(1998)年	6月	鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年	5月	鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年	7月	鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年	3月	鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年	8月	鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
14(2002)年	6月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年	7月	赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年	1月	鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
15(2003)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
15(2003)年	11月	鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年	3月	血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年	7月	鹿児島赤十字病院「地域医療連携室」設置
17(2005)年	3月	鹿児島赤十字病院「救急病院」認定

- 17(2005)年 4月 鹿児島赤十字病院 「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管
- 18(2006)年 3月 血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)
- 18(2006)年 7月 血液センター 「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
- 18(2006)年 10月 血液センター 「献血者健康被害救済制度」開始
- 18(2006)年 10月 血液センター 献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
- 18(2006)年 11月 鹿児島赤十字病院 MRI室増築 稼働開始
- 19(2007)年 1月 血液センター 全ての血液製剤について保存前白血球除去開始
(一部製剤は先行実施)
- 19(2007)年 2月 血液センター 採血時初流血液除去を開始
- 19(2007)年 3月 鹿児島赤十字病院 医療安全推進室を設置
- 19(2007)年 4月 鹿児島赤十字病院 言語聴覚療法を開始
- 19(2007)年 11月 鹿児島赤十字病院 放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成
一般撮影装置増設、DEXA装置更新
- 19(2007)年 11月 血液センター 九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
- 20(2008)年 1月 血液センター 検査業務を九州血液センターに集約
- 20(2008)年 3月 鹿児島赤十字病院 一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
- 20(2008)年 3月 血液センター 医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センターに集約(製剤業務の集約4/1付)
- 20(2008)年 4月 血液センター かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザかもいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン
特別養護老人ホーム錦江園 介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定更新
- 20(2008)年 6月 鹿児島赤十字病院 病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5)認定
- 21(2009)年 3月 血液センター 生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
- 21(2009)年 3月 鹿児島赤十字病院 国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油タンク)
- 21(2009)年 4月 鹿児島赤十字病院 鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院として指定
血液センター 献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため一時閉所
- 21(2009)年 7月 血液センター 献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
- 21(2009)年 10月 鹿児島赤十字病院 消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
- 22(2010)年 3月 鹿児島赤十字病院 鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡
鹿児島赤十字病院 錫山・火の河原出張診療所廃止
- 22(2010)年 7月 鹿児島赤十字病院 DPC対象病院として稼働開始
- 22(2010)年 11月 血液センター 「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
- 22(2010)年 12月 鹿児島赤十字病院 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入・稼働開始
- 23(2011)年 3月 東日本大震災で救護班5個班、こころのケア要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣(発災から同年8月までの間)

23(2011)年8月	血液センター 鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曾於地区血液備蓄所(曾於郡医師会立病院)閉鎖
23(2011)年9月	血液センター 鹿屋出張所開設
23(2011)年11月	血液センター 川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖
23(2011)年12月	血液センター 川内出張所開設
24(2012)年3月	鹿児島赤十字病院 平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年4月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年8月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年1月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年1月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年2月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年3月	鹿児島赤十字病院新東棟竣工
26(2014)年5月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年6月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を50年振りに再締結
26(2014)年11月	鹿児島赤十字病院本館改修工事竣工
27(2015)年1月	鹿児島赤十字病院増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会挙行
27(2015)年2月	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年記念式典挙行
27(2015)年3月	一般社団法人日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年5月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害で救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年8月	鹿児島赤十字病院永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
27(2015)年8月	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年2月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年4月	血液事業本部 生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止 熊本地震災害で医療救護班4個班、災害対策本部支援要員等を派遣 (発災から同年6月までの間)
〃	
28(2016)年7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年9月	血液事業本部 照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始
29(2017)年3月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017)年4月	特別養護老人ホーム錦江園10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年7月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)

29(2017)年9月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖
30(2018)年3月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
31(2019)年3月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019)年4月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和元(2019)年8月	令和元年8月豪雨災害で佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020)年7月	鹿児島赤十字病院 県の要請を受け新型コロナウイルス感染者の入院受入を開始
〃	令和2年7月豪雨災害で熊本県へ支部職員1名を派遣
2(2020)年8月	新型コロナウイルス感染症対応で鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021)年3月	沖電気工業株式会社から血液センターへ献血運搬車の寄贈
3(2021)年10月	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から血液センターへ献血推進車の寄贈
〃	鹿児島南洲ライオンズクラブ及び鹿児島ライオンズクラブから血液センターへ献血輸送車の寄贈
3(2021)年12月	震度5強の地震を観測した悪石島に鹿児島赤十字病院看護師及び支部事務局職員計2名を派遣
4(2022)年7月	桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられたことに伴い、支部災害対策本部要員が県赤十字会館に参集するとともに、県庁に連絡調整員を1名派遣
4(2022)年9月	アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用開始
〃	日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年事業 ～災害の記憶展～ を実施
5(2023)年1月	青少年赤十字創設100周年・県支部創立130周年記念作文・絵画コンクールを実施
5(2023)年3月	3月13日採血分(3月15日製造分)から赤血球製剤の有効期限が21日から28日に延長
5(2023)年5月	献血プラザかもいけクロス・献血ルーム天文館での全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年9月	献血バスでの全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年12月	鹿児島赤十字病院創立100周年
6(2024)年1月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
6(2024)年2月	献血同意書に血漿分画製剤の海外輸出に関する項目が追加
〃	「献血ルーム・天文館」リニューアル・オープン(同年2月8日から一時閉鎖)
6(2024)年1月	令和6年能登半島地震で救護班2個班及び災害医療コーディネーターチーム1チームを派遣(発災から同年2月までの間)

赤十字標語一覧

- 1973年(昭48) あなたとあなたの世界に赤十字
- 1974年(昭49) いのちを守る赤十字！(救急法, 水上安全法, 家庭看護法の普及)
- 1975年(昭50) 赤十字: 危急のときのいのち綱
- 1976年(昭51) 行動する赤十字
- 1977年(昭52) 人の和を世界に広げる赤十字
- 1978年(昭53) 参加しよう赤十字
- 1979年(昭54) 愛に手で世界を結ぶ赤十字
- 1980年(昭55) 赤十字: みんなのためにどこにでも
- 1981年(昭56) あなたとともに赤十字
- 1982年(昭57) あなたの身近に赤十字
- 1983年(昭58) とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
- 1984年(昭59) 人道を通じて平和へ
- 1985年(昭60) あなたの若さを一赤十字
- 1986年(昭61) いのちを救う愛の献血一赤十字
- 1987年(昭62) 幼い生命に愛の手を一赤十字
- 1988年(昭63) 伝統を明日への力に一赤十字
- 1989年(平元) 愛の手を世界に広げる赤十字
- 1990年(平2) 守ろう！人のいのちと尊さを
- 1991年(平3) 救おう！災禍にあえぐ人々を
- 1992年(平4) 災害に備えて守る尊い生命一赤十字
- 1993年(平5) すべての人々に人間の尊厳を
}
- 2000年(平12) 全ての人々に人間の尊厳を
- 2001年(平13) 人道は限りない力
}
- 2004年(平16) 守ろう人間の尊さを
}
- 2008年(平20) 人間を救うのは、人間だ。Together for humanity
}
- 2012年(平24) 人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.
}

